

令和5年度
静岡県立大学キャリア・就職支援等に
関する卒業生調査

静岡県立大学キャリア支援センター
2024年3月

目次

1	調査概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査対象	1
	(3) 調査時期	1
	(4) 調査方法	1
	(5) 回収状況	1
	(6) 報告書内のデータ記述について	1
2	調査概括	3
1	本学卒業生のライフコース	3
	大学卒業直後の進路状況	3
	初職の満足度	4
	離職率	4
	3年以内離職率	5
	転職での収入の変化と満足度	5
	大学卒業後の進路イメージ	6
2	Uターン率	7
	大学卒業後の勤務地Uターンイメージ	7
3	本学卒業生の現在の就労状況	8
	現職の雇用形態	8
	現職の通勤・通学時間と労働時間	8
	現職の重要度・満足度	9
	本学卒業生の働き方のイメージ	9
3	調査結果	11
1	あなたご自身について	11
	性別	11
	現在の居住地	11
	現在の通勤・通学時間	11
	大学卒業直前と現在の実家居住状況	12
	職業や生活を通して重要なこと	13
2	本学での学習・生活について	14
	本学を卒業した時期	14
	卒業した学部・学府・研究科	14
	講義やゼミの参加、大学主催の就職支援講座等の参加の程度	15
	実社会で役に立っている科目	15
	大学時代にやっておけばよかったと感じている科目	18
	キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点	20
3	就職活動と本学卒業後の最初の勤務先について	24

就職活動支援の評価（５段階評価）	24
就職活動支援の評価（３段階評価）	24
就職活動支援の評価（５段階評価）学部・学府・研究科別クロス集計	25
1 現実の問題・課題に関連した授業	25
2 授業以外で教員と接触する機会	25
3 就職指導の体制	26
4 企業実習（インターンシップ）の機会	26
就職活動（公務員試験等を含む）の有無	27
就職活動の内容	27
就職活動をしなかった理由	27
卒業直後の状況	28
卒業後の就職有無（非正規も含む）	28
卒業後最初の勤務先の雇用形態	28
卒業後最初の勤務先の所在地	29
卒業後最初の勤務先の就労状況	30
卒業後最初の勤務先の就労期間	30
卒業後最初の勤務先の満足度	30
4 現在の職場の状況について	31
現在の状況	31
現在の勤務先	31
勤務先の業種	32
現在の勤務先の所在地	33
現在の勤務先の従業員規模	34
現在の１週間の平均労働時間	34
現在の収入	35
働き方の重要度・満足度	36
5 大学卒業後の働き方の変化について	37
卒業後の転職・退職有無（非正規も含む）	37
転職・退職しようとした際の相談相手	37
転職・退職した理由	38
卒業後二番目の勤務先の雇用形態	39
卒業後二番目の勤務先の就労状況	39
卒業後二番目の勤務先の就労期間	39
卒業後二番目の勤務先に転職しての収入の変化	40
卒業後二番目の勤務先の満足度	40
卒業後からこれまでに勤務した企業数（公務員、自営を含む）	40
6 卒業後の本学とのつながりについて	41
卒業後の本学への訪問有無	41
本学への訪問目的	41
卒業後に本学の教員との連絡有無	42
本学の教員との連絡手段	42

本学の情報の入手方法	42
7 本学在学生に向けて、卒業生として伝えたいことについて	43
OB・OG懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力の可否	43
働くということについて気づいたこと	43
そのほかにも、後輩に伝えたいと思っていること	44
8 新型コロナウイルスの影響について	45
新型コロナウイルスの影響による収入の変化	45
新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化	46
新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無	47
新型コロナウイルスの影響による転職・退職した、または検討している具体的な理由 ...	48
新型コロナウイルスの影響による職場の環境や処遇の変化	48
9 静岡県立大学キャリア支援センターについて	49
キャリア支援や就職ガイダンス等、就職活動に役立ったこと	49
就職に関して在学中にあれば良かったと思う支援	50
キャリア支援センターに望むこと・意見・提案	50
4 付録	51
1 概括集計結果	51
2 調査結果集計結果（単純集計）	57
3 調査結果集計結果（クロス集計）	79
4 調査票	95

I 調査概要

I 調査概要

(1) 調査の目的

本学では、平成19年4月の法人化と時期を同じくして、キャリア支援センターを新たに設置し、本学学生のキャリア・就職支援の一層の充実を図ることとなった。

キャリア支援センターでは、卒業生を対象とした調査を平成20年度より3年ごとに実施することとしており、第6回目として令和5年度に実施した。この調査は、卒業生の現状を把握するとともに、キャリア支援センターの提供した支援をはじめ、本学が提供した教育及び各種支援についての卒業生による評価を求めることによって、今後の効果的な教育・支援策を検討し、実施していくための基礎資料を得ることを目的として実施するものである。

(2) 調査対象

令和2年度～令和4年度に本学学部及び大学院修士課程、博士前期課程を卒業した1,779名

(3) 調査時期

令和5年12月20日～令和6年1月19日

(4) 調査方法

郵送による質問紙調査。平成29年度調査、令和2年度調査同様、卒業生の現住所把握が困難であるため、実家等（日本国内の保護者等の住所）に返信用の封筒を同封した質問紙を郵送し、回答後に本学キャリア支援センター宛に返送を求めた。

(5) 回収状況

1,779票を発送した。回収票は433票で、発送票に対する回収率は24.3%である。母集団に対して、許容誤差5%、信頼水準95%となるサンプル数は316で、多くの設問は信頼を期待できるものとなっている。

(6) 報告書内のデータ記述について

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示している。
- ・百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ・1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・設問文や選択肢が長い場合、グラフやコメントにおいて省略した表記をしていることがある。
- ・サンプル数が20未満のものについては、コメントを割愛する。
- ・経年比較に使用したデータの出典は

平成29年度調査：静岡県立大学のキャリア・就職支援を中心とした学生支援に関する卒業生調査報告書（2018年3月）

令和2年度調査：静岡県立大学のキャリア・就職支援を中心とした学生支援に関する卒業生調査報告書（2021年3月）

2 調查概括

2 調査概括

1 本学卒業生のライフコース

大学卒業直後の進路状況

大学卒業直後の進路状況を本学と全国で比較すると、『正規雇用者』は、本学では9割程度で推移しているが、全国では7割程度で推移している。『非正規雇用者』は、全国では減少傾向にあったが令和5年度は横ばい、本学では『非正規雇用者』という回答が少ないため、大きな変化はない。

図 卒業直後（大学・大学院卒）の状況（本学）

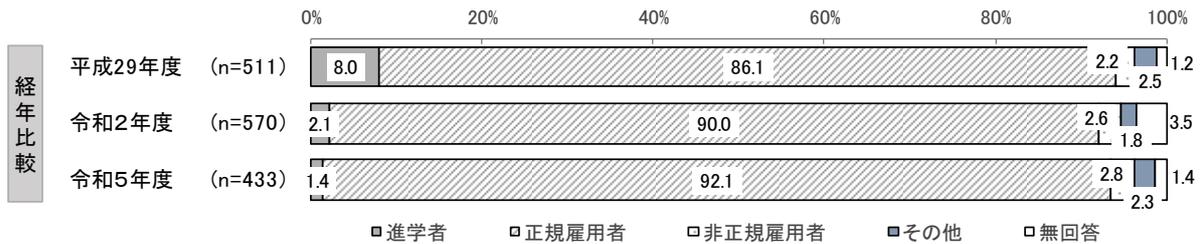
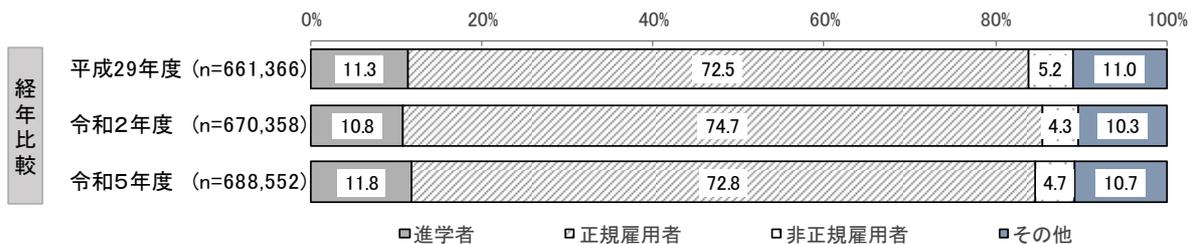


図 卒業直後（大学・大学院卒）の状況（全国）



『進学者』と『正規雇用者』の推移について、それぞれ以下に図示する。全国の『進学者』は令和2年度に比べ1.0ポイント多くなっており、本学では0.8ポイント少なくなっている。全国の『正規雇用者』は令和2年度に比べ1.9ポイント少なくなっているが、本学では横ばいで推移している。

図 卒業直後『進学者』の推移

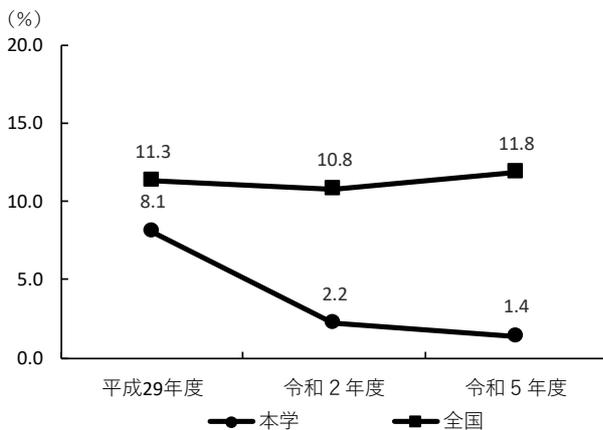
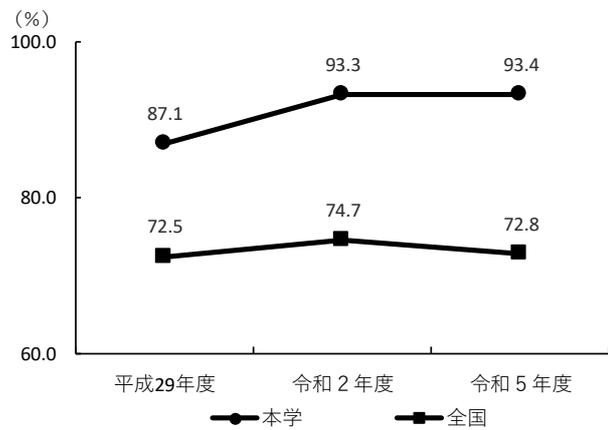


図 卒業直後『正規雇用者』の推移

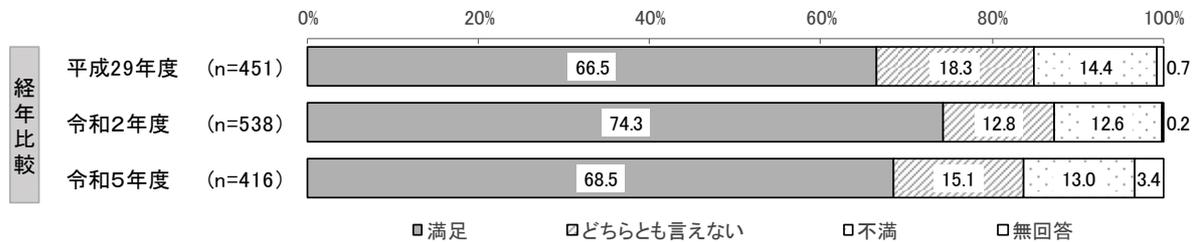


本学：『進学者』は「大学院生・大学生・留学生・専門学校生」、『非正規雇用者』は「非正規雇用の従業員」の項目名を改めたもの。『正規雇用者』は「正規雇用の従業員」、「起業」、「家業に従事」を、『その他』はそれら以外の項目（「無回答」除く）をそれぞれ合算したものを。
 全国：文部科学省「学校基本調査」（平成29年度、令和2年度、令和5年度）より作成。平成29年度は『進学者』は「進学者」、「専修学校・外国の学校等入学者」を、『非正規雇用者』は「正規の職員等でない者」、「一時的な仕事に就いた者」を、『その他』はそれら以外の項目（「無回答」除く）をそれぞれ合算したものを。令和2年度、令和5年度は『進学者』は「進学者」、「専修学校・外国の学校等入学者」を、『正規雇用者』は「自営業主等」、「無期雇用労働者」を、『非正規雇用者』は「有期雇用労働者（雇用契約期間が一月以上の者）」、「臨時労働者」を、『その他』はそれら以外の項目（「無回答」除く）をそれぞれ合算したものを。

初職の満足度

本学卒業後最初の勤務先の満足度を5段階評価した際の「満足している」、「やや満足している」を合算した『満足』68.5%、「どちらとも言えない」15.1%、「あまり満足していない」、「満足していない」を合算した『不満』13.0%、の3段階評価としたところ、『満足』が最も多くなっている。

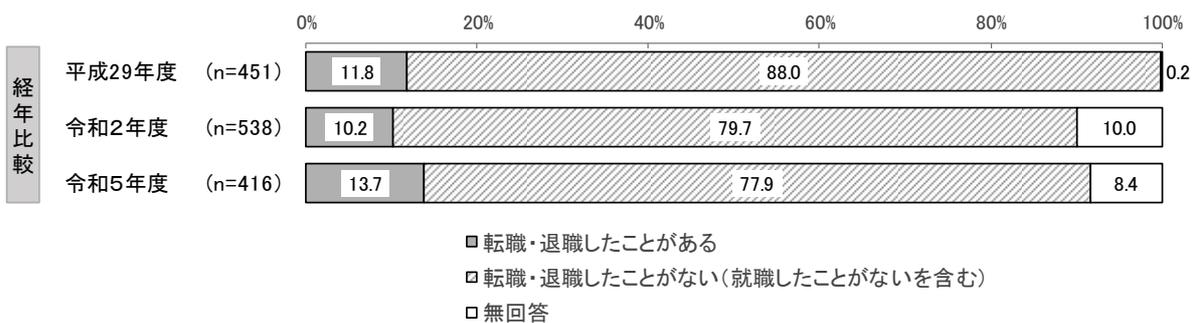
図 初職の満足度（3段階評価）



離職率

本学の『就職者』は416人、離職率は14.4%である。離職者のうち、卒業後3年を経過している令和2年度卒業生169人について、転職・退職経験のある者は20.1%である。

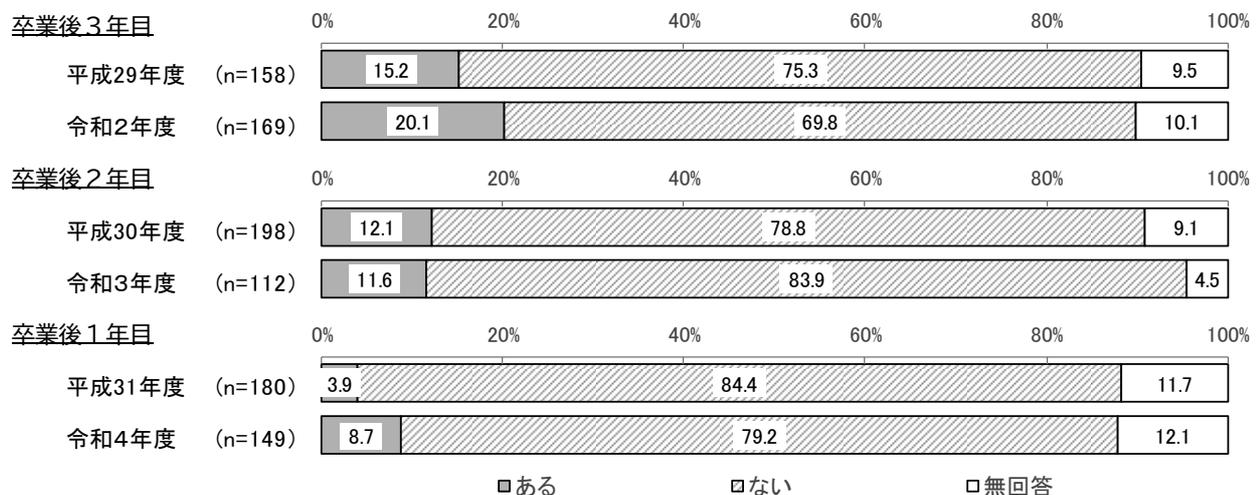
図 就職経験と離職経験



離職率：「就職したことがある」と回答したものを『就職者』、「転職・退職したことがある」と回答したものを『離職者』とし、以下のような計算をする。

$$\text{「離職率」} = \text{「離職者」} \div \text{「就職者」} \times 100 (\%)$$

図 3年以内離職率

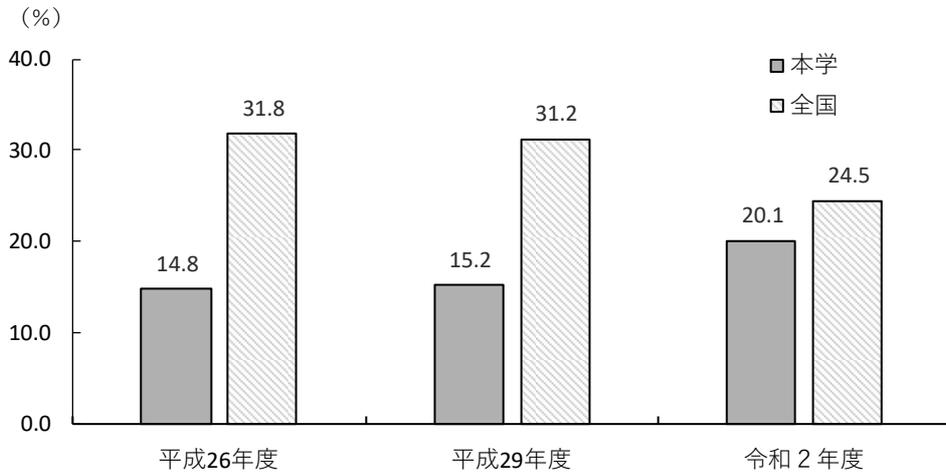


3年以内離職率：各卒業年度で「離職率」を計算したもの。令和2年度卒業生は令和3年度から令和5年度まで、令和3年度卒業生は令和4年度から令和5年度まで、令和4年度卒業生は令和5年度の離職者を基に算出した。

3年以内離職率

本学と全国の大卒者の3年以内離職率を比較してみると、本学は全国と比べて3年以内離職率が低い傾向にあるが、割合は増加傾向にある。

図 3年目以内離職率の推移



本学：「3年以内離職率」に同じ。

全国：厚生労働省「新規学卒者の離職状況」より作成。ここでは離職状況を、「新規学卒者の離職状況」＝「新規大卒離職者」/「新規大卒就職者」×100（%）と算出している。このとき、新規大卒就職者とは、大学卒業3年以内のもので22歳以上、卒業年の3月1日から6月30日までに新規学卒として雇用保険に加入した者を指す。ただし、令和2年度の数値は、令和5年度6月時点で把握した大学卒業1年以内及び2年以内の離職率を合算した数値。本学データは「3年以内離職率」に同じ。

転職での収入の変化と満足度

本学の離職者の収入をみていくと、『収入が増えた』35.0%より『収入が減った』36.7%が上回っている。この傾向は全国、全国大卒でも同様である。

また、満足度については、本学、全国、全国大卒どれも、『満足』が最も多くなっている。

図 転職による収入の変化

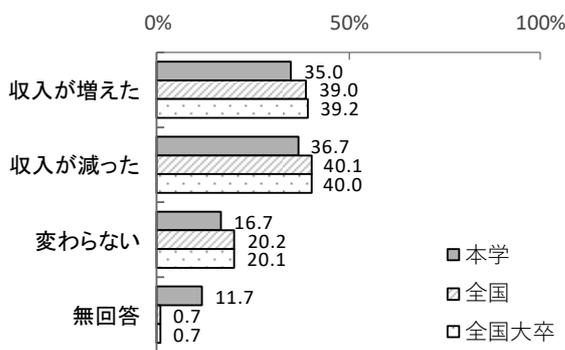
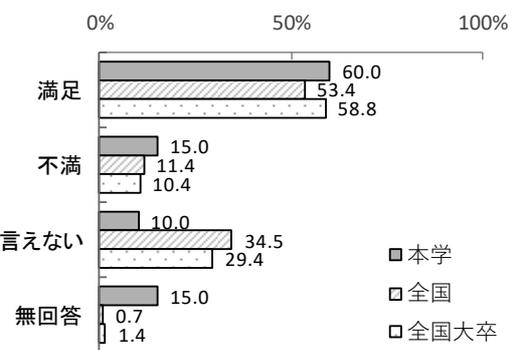


図 転職後の勤務先の満足度



全国：厚生労働省「令和2年転職者実態調査」より作成。

大卒：厚生労働省「令和2年転職者実態調査」より作成。『全国大卒』は最終学歴が「大学」のもの。

大学卒業後の進路イメージ

これまでのデータより、本学卒業生は卒業後、全国平均よりも多い90%前後が『正規雇用者』として働いており、このうちの65%以上が最初の仕事に『満足』と回答している。

その後、就職したことがある人のうち、2割が大学卒業3年以内に転職している。離職率について、卒業後3年目となっている「令和2年度卒業生」20.1%は、全国の「令和2年度卒」24.5%を4.4ポイント下回っている。

卒業後3年以内に転職した場合、本学では『収入が減った』と回答した人が『収入が増えた』と回答した人よりも多くなっている。この傾向は全国、全国大卒と同様である。

また『満足』と回答した人が、全国・全国大卒よりやや上回り6割となっており、「新卒後3年は勤めた方が良い」といった助言は当てはまりにくい可能性がある。

2 Uターン率

前々回調査について尋ねたところ、「Uターン率」を算出しており、以下のように計算する。

$$\text{「Uターン率」} = \frac{\text{初職の勤務地が静岡県外の者のうち、現在の居住地が静岡県の者の数}}{\text{全回答者数}} \times 100$$

このとき、今回調査での「Uターン率」は2.1%である。なお、平成29年度は1.4%、令和2年度は2.8%であった。

だが、この「Uターン率」は「初職の勤務地」と「(出生地とは限らない)静岡県での現在の居住地」が基準になっており「Uターン」¹や「Uターン者」²の一般的な語義と必ずしも合致するものではない。また、「Uターン」という語自体、国内の特定の地点を出身地と定められることを前提としている。そこで、本調査では平成29年度より出生や居住ではなく、県内就労をもとに設定し直した「勤務地Uターン率」を算出している。

「勤務地Uターン」を「大学卒業後、最初の勤務先が静岡県外の者のうち、調査時点現在、静岡県で就労している者」と便宜的に定める。このことから、以下のように計算する。

$$\text{「勤務地Uターン率」} = \frac{\text{初職の勤務地が静岡県外の者のうち、現職の勤務地が静岡県内の者の数}}{\text{全回答者数}} \times 100$$

全回答者433名うち、初職の勤務先が静岡県外の者は160名おり、そのうち、現職の勤務先が静岡県の者は6名である。このことから、「勤務地Uターン率」は1.4%である。なお、令和2年度は2.1%であった。また、初職の勤務先が静岡県内の者は244名おり、そのうち、現職の勤務先が静岡県外の者は17名であった。7.0%が静岡県を離れていったことがわかる。転出超過は11人、転出超過率は2.5%である。なお、令和2年度は転入超過が6人、転入超過率が1.1%であった。

大学卒業後の勤務地Uターンイメージ

本学卒業後、静岡県外で働き、現在、静岡県内で働く卒業生の割合は1.4%となっており、令和2年度より0.7ポイント減少している。なお、比較はできず、あくまで参考だが、国立社会保障・人口問題研究所「第8回人口移動調査」では、「15歳から29歳」のUターン者の割合が11.8%となっている。

※参照

また、国立社会保障・人口問題研究所「第8回人口移動調査 概要」(2017)では、全国のUターン者割合は20.4%となっている。うち15歳から29歳の割合は11.8%である。また、静岡県出身者のUターン者割合は23.4%、県外移動歴無し者(県内にとどまっている者)は47.4%、県外移動した非Uターン者(県外に出たまま静岡県に居住地を移さない者)は23.4%、移動歴不明者(移動歴を補足できない者)は9.7%である。

1 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「Uターン者の促進・支援と地方の活性化 ―若年期の地域移動に関する調査結果―」(2016年5月)と尋ねたところ、「Uターン」を「生まれ育った故郷から進学や就職を機に都会へ移住した後、再び生まれ育った故郷に移住すること」と定義している。

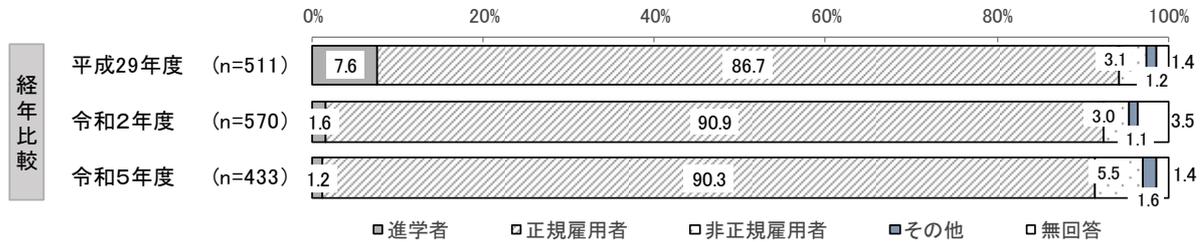
2 国立社会保障・人口問題研究所「第8回人口移動調査 概要」(2017年10月)と尋ねたところ、「Uターン者」を「出生都道府県から県外に移動したのち、再び出生都道府県に戻った人」と定義している。

3 本学卒業生の現在の就労状況

現職の雇用形態

本学卒業生の調査時点現在の雇用形態は、『正規雇用者』が9割程度で推移している。

図 現職の雇用形態



現職の通勤・通学時間と労働時間

本学卒業生の通勤時間は平均31.5分、通学時間は平均29.6分である。いずれも静岡県・全国の平均と比較して少ない移動時間である。

また、労働時間を本学卒業生と全国とで比較すると、本学で最も多いのは「40～48時間」61.0%で、次いで多いのは「39時間以下」18.1%となっている。全国で最も多いのは「39時間以下」43.3%で、次いで多いのは「40～48時間」37.8%となっている。

図 現在の通勤・通学時間 (分)

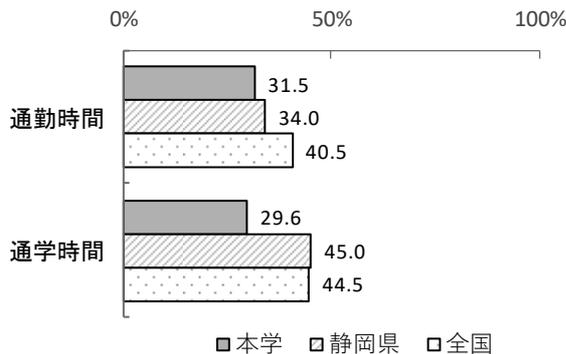


図 現在の労働時間

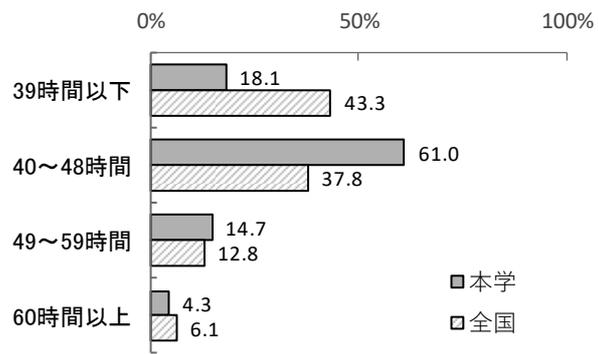


図 現在の通勤・通学時間

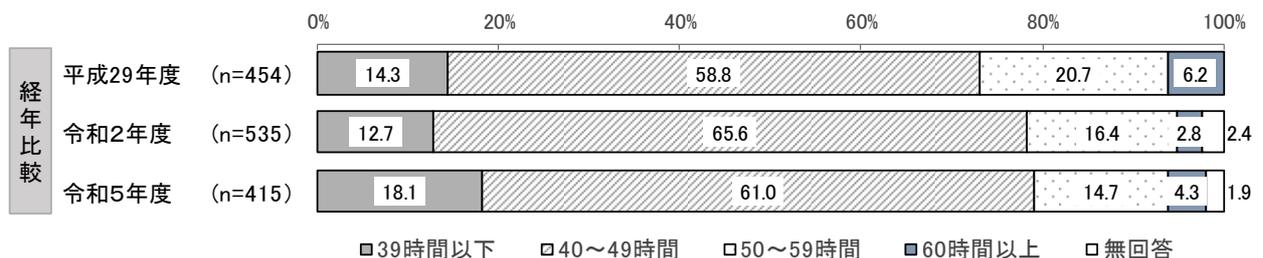
静岡県・全国：総務省「令和3年社会生活基本調査A票」より作成。平日の通勤・通学の往復時間をもとに、それぞれ2で除して片道平均時間とした。

図 現在の労働時間

全国：総務省「令和3年社会生活基本調査B票」より作成。本学のデータは、全国のデータに合わせて再分類した

この労働時間のうち、「50～59時間」は減少している。「60時間以上」は平成29年度以降、減少傾向にあったが、令和5年度は微増している。

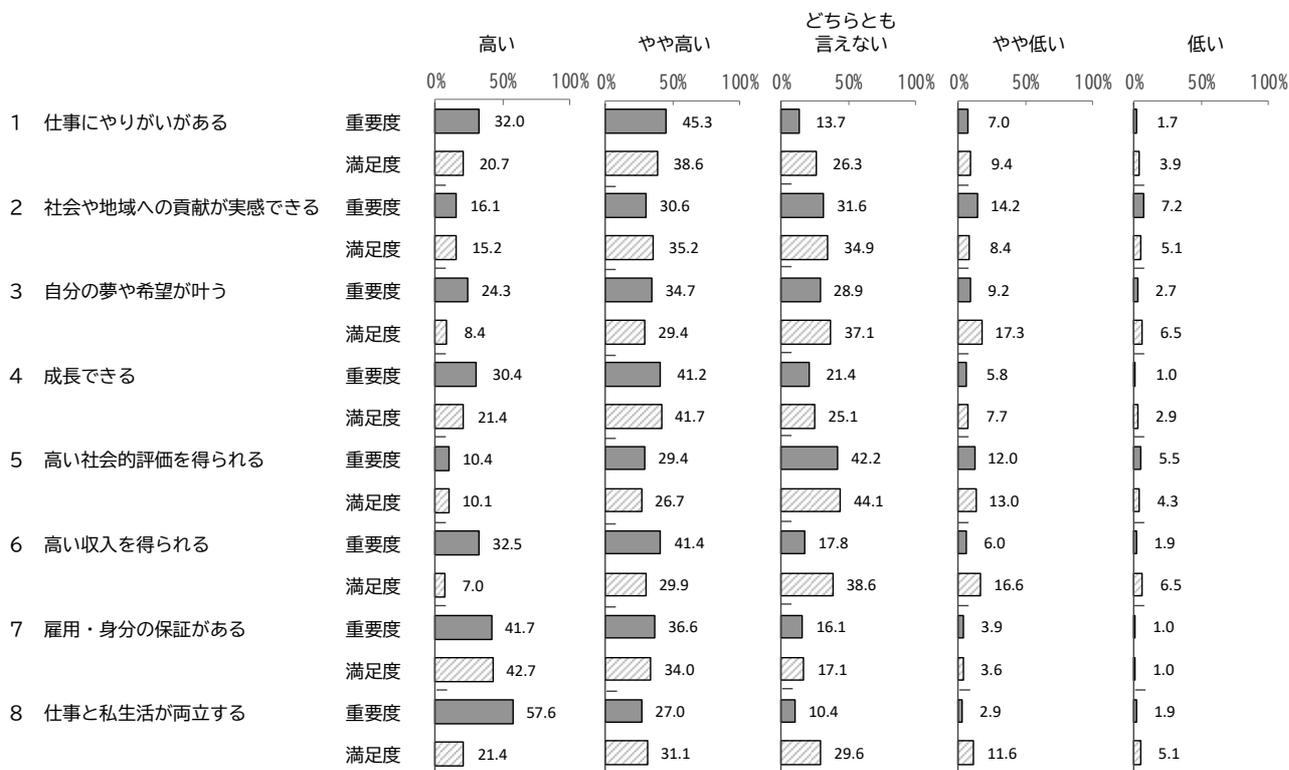
図 現在の労働時間の推移



現職の重要度・満足度

本学卒業生に対して、勤務先で得られるものについて重要度と満足度について尋ねた。このとき、重要度が「高い」のうち満足度が重要度を10ポイント以上下回っているのは、「1 仕事にやりがいがある」、「3 自分の夢や希望が叶う」、「6 高い収入を得られる」、「8 仕事と私生活が両立する」。「7 雇用・身分の保証がある」は、重要度より満足度が上回っている。

図 現職の重要度・満足度



本学卒業生の働き方のイメージ

本学卒業生は、卒業後3年のうちに様々なキャリアを積んでいるが、多くの者は、現在、平均30分程度で通勤・通学し、1週間に40~48時間の労働に従事している。

ただし、卒業生が現状に満足しているとは限らない可能性がある。働く上で重要だと考えている点について、現実の職場で高い満足を得られることはあまり多くないようである。

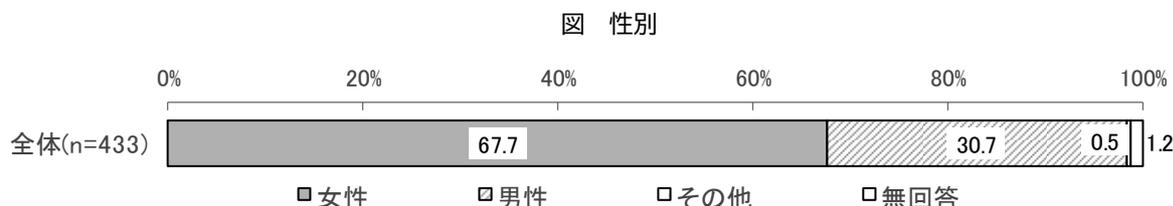
3 調查結果

3 調査結果

1 あなたご自身について

性別

性別について尋ねたところ、「女性」67.7%が最も多く、次いで「男性」30.7%、「その他」0.5%の順である。



現在の居住地

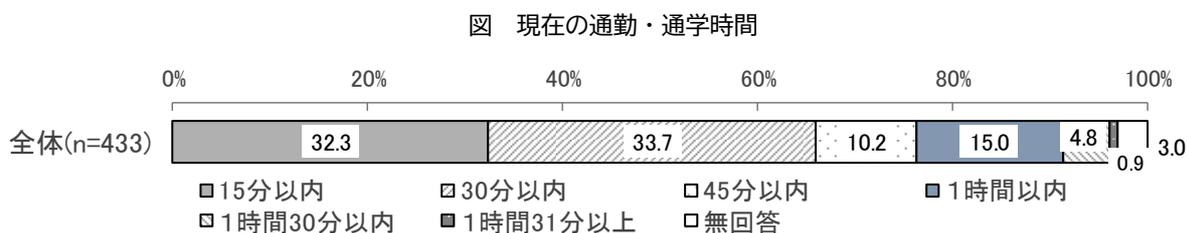
現在の居住地について尋ねたところ、「静岡県」57.7%が最も多く、次いで「東京都」8.1%、「愛知県」6.9%、「神奈川県」6.0%、「千葉県」3.2%での順ある。

表 現在の居住地

現住所	回答数	パーセント	現住所	回答数	パーセント	現住所	回答数	パーセント
北海道	5	1.2	福井県	2	0.5	山口県	1	0.2
青森県	1	0.2	山梨県	3	0.7	徳島県	-	-
岩手県	1	0.2	長野県	2	0.5	香川県	-	-
宮城県	1	0.2	岐阜県	1	0.2	愛媛県	-	-
秋田県	-	-	静岡県	250	57.7	高知県	-	-
山形県	1	0.2	愛知県	30	6.9	福岡県	4	0.9
福島県	-	-	三重県	4	0.9	佐賀県	1	0.2
茨城県	2	0.5	滋賀県	1	0.2	長崎県	-	-
栃木県	2	0.5	京都府	8	1.8	熊本県	-	-
群馬県	2	0.5	大阪府	11	2.5	大分県	1	0.2
埼玉県	6	1.4	兵庫県	7	1.6	宮崎県	-	-
千葉県	14	3.2	奈良県	1	0.2	鹿児島県	-	-
東京都	35	8.1	和歌山県	-	-	沖縄県	1	0.2
神奈川県	26	6.0	鳥取県	-	-	海外	1	0.2
新潟県	1	0.2	島根県	-	-	無回答	5	1.2
富山県	1	0.2	岡山県	1	0.2	調査数	433	100.0
石川県	-	-	広島県	-	-			

現在の通勤・通学時間

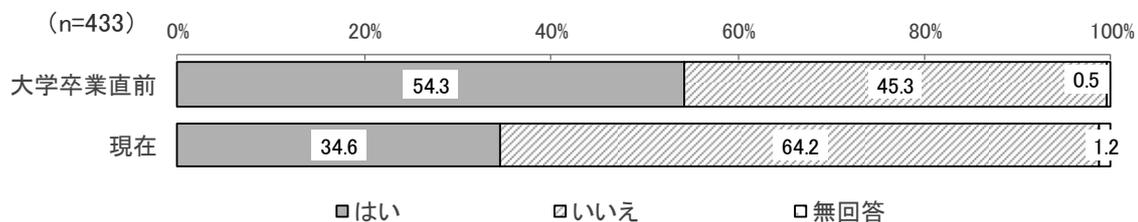
通勤時間について尋ねたところ、「30分以内」33.7%が最も多く、次いで「15分以内」32.3%である。



大学卒業直前と現在の実家居住状況

大学卒業直前と現在の実家居住状況について尋ねたところ、大学卒業直前は「いいえ」が45.3%だったが、現在は「いいえ」が64.2%と増えている。

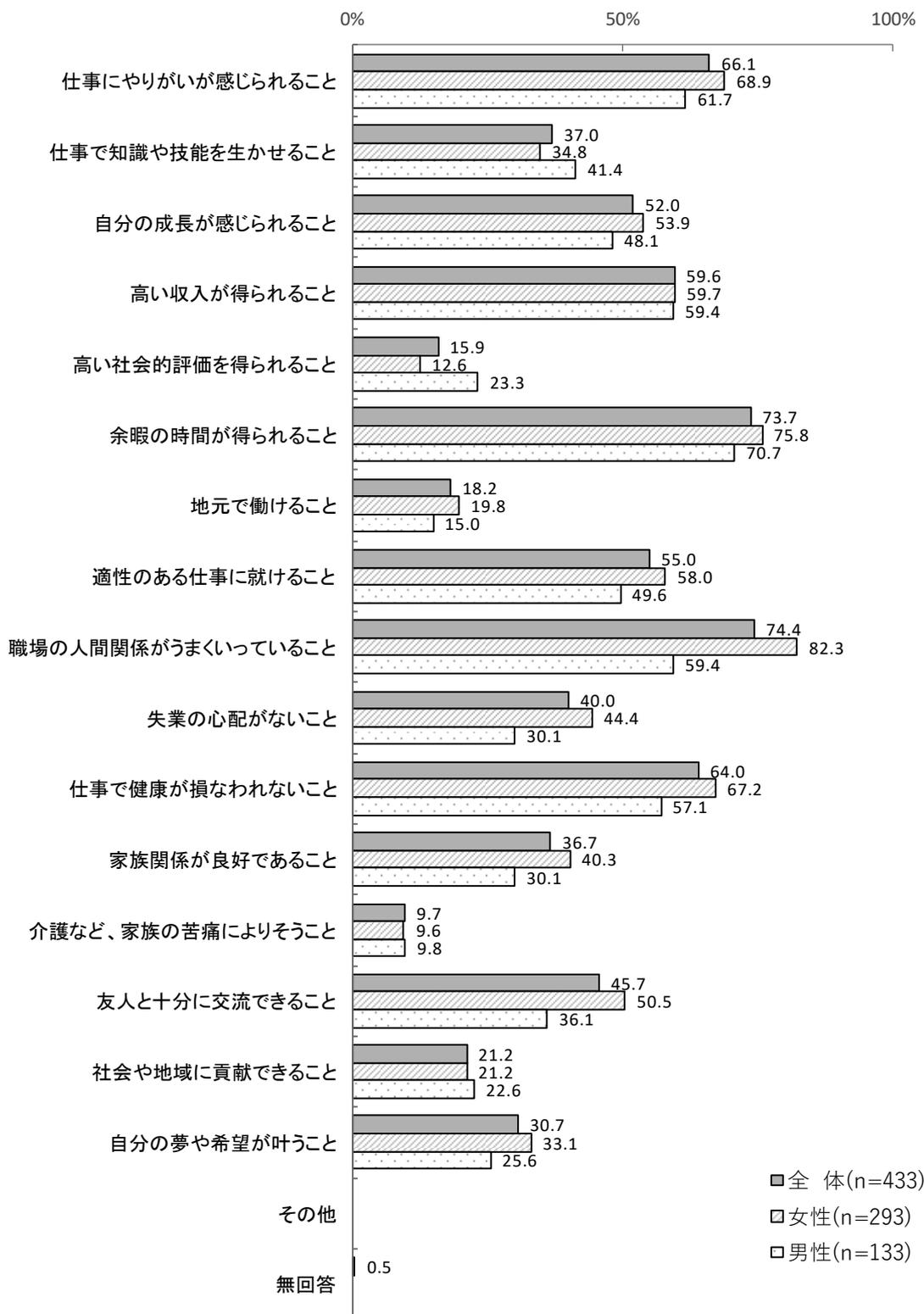
図 卒業直前と現在の実家居住状況



職業や生活を通して重要なこと

職業や生活を通して重要なことについて尋ねたところ、「職場の人間関係がうまくいっていること」74.4%が最も多く、次いで「余暇の時間が得られること」73.7%、「仕事にやりがいを感じられること」66.1%、「仕事で健康が損なわれないこと」64.0%、「高い収入が得られること」59.6%の順である。

図 職業や生活を通して重要なこと



2 本学での学習・生活について

本学を卒業した時期

卒業した時期について尋ねたところ、「令和3年3月」39.0%が最も多く、次いで「令和5年3月」33.9%、「令和4年3月」25.6%の順である。

表 本学を卒業した時期

卒業年度	回答数	パーセント
令和2年9月	-	-
令和3年3月	169	39.0
令和3年9月	1	0.2
令和4年3月	111	25.6
令和4年9月	2	0.5
令和5年3月	147	33.9
無回答	3	0.7
調査数	433	100.0

卒業した学部・学府・研究科

学部・学府・研究科について尋ねたところ、「国際関係学部」26.1%が最も多くなっている。

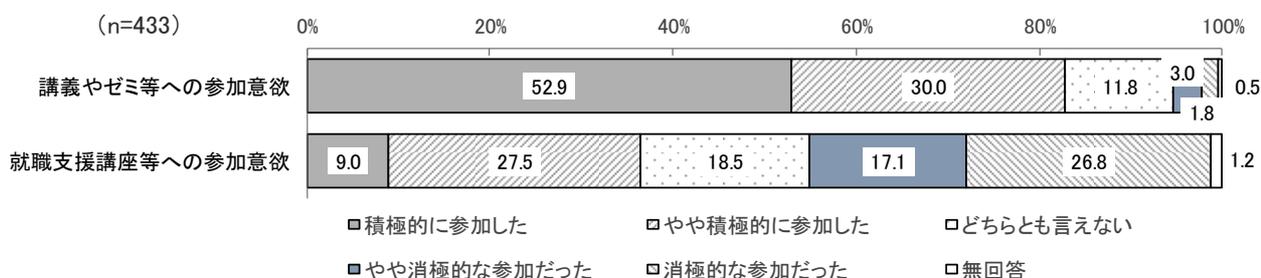
表 卒業した学部・学府・研究科

卒業年度	回答数	パーセント
薬学部	71	16.4
食品栄養科学部	30	6.9
国際関係学部	113	26.1
経営情報学部	70	16.2
看護学部	82	18.9
薬食生命科学総合学府（薬学系）	15	3.5
薬食生命科学総合学府（食品系）	36	8.3
国際関係学研究科	4	0.9
経営情報イノベーション研究科	3	0.7
看護学研究科	8	1.8
無回答	1	0.2
調査数	433	100.0

講義やゼミの参加、大学主催の就職支援講座等の参加の程度

講義やゼミ等への参加の程度について尋ねたところ、「積極的に参加した」52.9%が最も多く、次いで「やや積極的に参加した」30.0%である。また、大学主催の就職支援講座等の参加の程度について尋ねたところ、「やや積極的に参加した」27.5%が最も多く、次いで「消極的な参加だった」26.8%である。

図 講義やゼミの参加、大学主催の就職支援講座等の参加の程度



実社会で役に立っている科目

実社会で役に立っている科目について尋ねたところ、全学で最も多いのは「薬理学」で、次いで多いのは「実務実習・実験・演習」、「英語（英会話含む）」、「ゼミ」、「看護系全般」、「簿記」である。薬学、英語、簿記・会計関連、OA関連、実務実習といった、勤務先で使用する技術に関するものが多い傾向が見られる。

学部別にみると、薬学部、看護学部、食品栄養科学部と薬食生命科学総合学府（食品系）では、複数名が「実習」関連の科目を挙げていた。

表 主に実社会で役に立っている科目（全学）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
薬理学	39	病態	11	マーケティング	7
実務実習・実験・演習	38	食品関連	11	生化学	6
英語（英会話含む）	26	全て	10	IT関連	6
ゼミ	19	PCスキル	9	会計	6
看護系全般	17	言語	9	基礎看護学	6
簿記	15	情報系科目(情報処理・セキュリティ含む)	9	生理学	6
プログラミング	14	薬物動態学	7	製剤学	6
情報リテラシー	12	経営学	7		

※回答数が6つ以上のものを掲載している。

表 主に実社会で役に立っている科目（薬学部）

自由記述	件数
薬理学	35
実務実習・実験・演習	11
病態	8
薬物動態学	7

自由記述	件数
製剤学	4
英語	2
全て	2
分析化学	2

自由記述	件数
衛生学	2
法規	2
疾患学	2

表 主に実社会で役に立っている科目（食品栄養科学部）

自由記述	件数
食品関連	6
実務実習・実験・演習	4

自由記述	件数
化学	2
栄養学	2

表 主に実社会で役に立っている科目（国際関係学部）

自由記述	件数
英語	21
ゼミ	15
言語	8
政治系科目	5
多文化共生論	4

自由記述	件数
ジェンダー論	3
経営学	2
経済学	2
キャリア論	2

自由記述	件数
教職科目	2
社会調査関係	2
中東・アフリカ論	2
日本語関連	2

表 主に実社会で役に立っている科目（経営情報学部）

自由記述	件数
簿記	15
プログラミング	14
情報リテラシー	11
マーケティング	7

自由記述	件数
情報系科目(情報処理・セキュリティ含む)	7
IT関連	6
会計	6

自由記述	件数
PCスキル	5
経営学	5
ゼミ	2
社会保障政策論	2

表 主に実社会で役に立っている科目（看護学部）

自由記述	件数
実務実習・実験・演習	16
看護系全般	15
基礎看護学	6
全て	4

自由記述	件数
成人看護学	4
専門科目	4
病態	3
薬理学	2

自由記述	件数
英語	2
生化学	2
公衆衛生学	2

表 主に実社会で役に立っている科目（薬食生命科学総合学府（薬学系））

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
薬理学	2	分析化学	2	化学	1
製剤学	2	生化学	1	薬学系全般	1
有機化学	2	生理学	1	医薬品製造化学特論	1

表 主に実社会で役に立っている科目（薬食生命科学総合学府（食品系））

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
実務実習・実験・演習	5	統計学	3	有機化学	2
食品関連	5	生化学	2	化学	2
微生物学	4	生理学	2	栄養学	2

表 主に実社会で役に立っている科目（国際関係学研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数
全て	2	ゼミ	1

表 主に実社会で役に立っている科目（経営情報イノベーション研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数
PCスキル	1	統計学	1

表 主に実社会で役に立っている科目（看護学研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
看護系全般	2	実務実習・実験・演習	1	中範囲理論	1
助産学	2	成人看護学	1		

※学部・学府・研究科別では回答数が2つ以上のものを掲載している。ただし、回答数が2つ以下しかないものは学部・学府・研究科別では回答数が2つ以下でも掲載している。

大学時代にやっておけばよかったと感じている科目

大学時代にやっておけばよかったと感じている科目について尋ねたところ、全学で最も多いのは「英語（英会話含む）」である。次いで多いのは「経済学」、「語学」、「PCスキル」、「IT系/情報系」の順である。「英語」、「言語」、「英会話」などの語学関連科目で70件あり、語学関連科目の重要度が高いことがうかがえた。また、「経済学」、「簿記」、「経営学」、「金融系」などお金の動きに関連する科目も60件あり、経済情勢などへの関心の高さがうかがえた。

学部別にみると、全ての学部で「英語（英会話含む）」が上位に位置している。また、国際関係学部では、「経済学」、「PCスキル」、「語学」、「法学」、経営情報学部では、「プログラミング」、看護学部では、「解剖学」がそれぞれ挙げられている。

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（全学）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語(英会話含む)	60	法学	11	金融系	7
経済学	21	資格取得関連	10	統計	6
語学	20	プログラミング	10	全て	6
PCスキル	19	経営学	8	解剖学	6
IT系/情報系	12	会計	7		

※回答数が6つ以上のものを掲載している。

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（薬学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語(英会話含む)	13	実務	3	病態	2
語学	5	金融系	2	製剤学	2
経済学	4	統計	2	疾患	2
全て	4				

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（食品栄養科学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語(英会話含む)	1	統計	1	薬学	1
経済学	1	財務	1	分析	1
語学	1	微生物学	1	栄養系	1
経営学	1	有機化学	1		

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（国際関係学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語(英会話含む)	13	IT系/情報系	4	国際情勢	3
経済学	13	資格取得関連	4	プログラミング	2
PCスキル	9	キャリア形成	4	簿記	2
語学	8	経営学	3	政治	2
法学	7	会計	3	マネーリテラシー	2

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（経営情報学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語(英会話含む)	10	資格取得関連	3	財務	3
プログラミング	7	会計	3	税金	3
IT系/情報系	5	金融系	3	経営学	2
PCスキル	4	簿記	3	法学	2
語学	3				

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（看護学部）

自由記述	件数
英語(英会話含む)	11
解剖学	5
経済学	2

自由記述	件数
語学	2
資格取得関連	2

自由記述	件数
薬理	2
看護技術	2

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（薬食生命科学総合学府（薬学系））

自由記述	件数
英語(英会話含む)	6

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（薬食生命科学総合学府（食品系））

自由記述	件数
英語(英会話含む)	6
PCスキル	4

自由記述	件数
微生物学	2

自由記述	件数
マーケティング	2

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（国際関係学研究科）

自由記述	件数
教育課程	1

自由記述	件数
社会調査法	1

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（看護学研究科）

自由記述	件数
法学	1
薬学	1

自由記述	件数
生理学	1
国際看護学	1

自由記述	件数
看護管理論	1
保険	1

※学部・学府・研究科別では回答数が2つ以上のものを掲載している。ただし、回答数が2つ以下しかないものは学部・学府・研究科別では回答数が2つ以下でも掲載している。
経営情報イノベーション研究科では自由記述回答が0件であった為、掲載はしていない。

キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点

大学卒業後、キャリア・就職支援を振り返って良かった点、これから期待したい点について尋ねた。これらを要約・整理し「主なよかった点」、「主なこうして欲しかった点」、「その他」に分類した。

「主なよかった点」に分類される項目について、全学で見ると、「面接指導がよかった」が最も多く、面接関連の記述は非常に多かった。次いで「相談に親身になってくれたのがよかった。」、「OB・OGの資料が見られたのがよかった。」の順である。他には「ES、履歴書等の添削・相談」が31件あり、指導、面倒見の良さについての評価が高いことがわかった。

「主なこうして欲しかった点」については、要望にばらつきが多かった。全学を見ると、「予約を取りやすくしてほしいかった。」が最も多く、次いで「情報の周知をしてほしいかった。」、「県外企業の情報がほしいかった。」の順である。予約に関しては、利用者が多くなったために、予約が取りにくくなっている可能性がある。また、予約方法に関してWEB予約を可能にして欲しいとの声も多くみられた。情報の周知については、キャリア支援センターのサポート内容、企業についての情報、情報発信方法などを求める意見があり、キャリア支援センターで行っている内容について説明する機会を充実させる必要性がうかがえた。また、専門分野や一人一人に合わせた支援を求める声も見られた。

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点 (全学)

よかった点	件数
面接指導がよかった。	50
相談に親身になってくれたのがよかった。	34
OB・OGの資料が見られたのがよかった。	23
ESの添削・相談がよかった。	18
OB・OGの体験談を聞いたのがよかった。	10
履歴書の添削・相談がよかった。	9

よかった点	件数
会社説明会に参加できたのはよかった。	7
個別に対応してくださったので助かった	6
過去問の本を借りられるのが良かった。	5
添削がよかった。	4
資料が多くあり、参考になりよかった。	3
企業の情報を集めることができた。	3

こうして欲しかった点	件数
予約を取りやすくしてほしいかった。(ネット予約など予約方法の変更や指導員の増員など)	15
情報の周知をしてほしいかった。	14
県外企業の情報がほしいかった。	11
キャリア支援センターの周知・アピールをして欲しかった。	9
OB訪問や実際の話を知る場を増やしてほしいかった。	6

こうして欲しかった点	件数
国試対策の授業をしてほしいかった。	4
校内での企業や病院の説明会を増やしてほしいかった。	3
地元企業の情報を充実させてほしいかった。	3
大企業の情報量を増やしてほしいかった。	3

※回答数が3つ以上のものを掲載している。

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（薬学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	7
相談に親身になってくれたのがよかった。	5
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	4

よかった点	件数
ESの添削・相談がよかった。	3
過去問の本を借りられるのがよかった。	2

こうして欲しかった点	件数
OB訪問や実際の話を知る場を増やしてほしい。	2
大企業の情報量を増やしてほしい。	2
情報の周知をしてほしい。	1
県外企業の情報がほしい。	1
キャリア支援センターの周知・アピールをして欲しかった。	1
卒業生の就活体験談を充実させてほしい。	1

こうして欲しかった点	件数
面接練習の回数を増やしてほしい。	1
キャリア支援をもっと充実させてほしい。	1
エントリーシートの添削の機会を増やしてほしい。	1
薬学部向けの支援は不明瞭に感じたので、もっと明確にしてほしい。	1
前年度の卒業生の記録を早めに反映してほしい。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（食品栄養科学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	4
ESの添削・相談がよかった。	2

よかった点	件数
OB・OGの体験談を聞いたのがよかった。	2
企業の情報を集めることができよかった。	2

こうして欲しかった点	件数
情報の周知をしてほしい。	1
キャリア支援センターの周知・アピールをして欲しかった。	1
OB訪問や実際の話を知る場を増やしてほしい。	1
情報収集が下手な学生向けの支援がほしい。	1

こうして欲しかった点	件数
栄養士向けの就活支援をもっと充実させてほしい。	1
実習の日程により、あまり講座に参加できなかったため、参加できる日程にしてほしい。	1
在学に進路を決めて報告が苦痛だったので、そっと見守ってほしい。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（国際関係学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	11
相談に親身になってくれたのがよかった。	10
ESの添削・相談がよかった。	4
会社説明会に参加できたのはよかった。	4

よかった点	件数
履歴書の添削・相談がよかった。	3
添削がよかった。	2
卒業生との座談会がよかったです。	2
参加しやすいキャリア支援が多くよかった。	2

こうして欲しかった点	件数
予約を取りやすくしてほしい。（ネット予約など予約方法の変更や指導員の増員など）	7
キャリア支援センターの周知・アピールをして欲しかった。	3
情報の周知をしてほしい。	3

こうして欲しかった点	件数
県外企業の情報がほしい。	3
地元企業の情報を充実させてほしい。	2
一人一人に積極的に相談や提案を行ってほしい。	2

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（経営情報学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	9
相談に親身になってくれたのがよかった。	8
ESの添削・相談がよかった。	6
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	4

よかった点	件数
個別に対応してくれたのがよかった。	3
OB・OGの体験談を聞いたのがよかった。	2
資料が多くあり、参考になりよかった。	2

こうして欲しかった点	件数
予約を取りやすくしてほしいかった。（ネット予約など予約方法の変更や指導員の増員など）	6

こうして欲しかった点	件数
県外企業の情報がほしいかった。	6
情報の周知をしてほしいかった。	5

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（看護学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	15
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	8
OB・OGの体験談を聞いたのがよかった。	5
相談に親身になってくれたのがよかった。	4

よかった点	件数
ESの添削・相談がよかった。	2
履歴書の添削・相談がよかった。	2
個別に対応してくれたのがよかった。	2
小論文対策が手厚くよかった。	2

こうして欲しかった点	件数
予約を取りやすくしてほしいかった。（ネット予約など予約方法の変更や指導員の増員など）	6
国試対策の授業をしてほしいかった。	3

こうして欲しかった点	件数
県外企業の情報がほしいかった。	2
情報の周知をしてほしいかった。	2

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（薬食生命科学総合学府（薬学系））

よかった点	件数
相談に親身になってくれたのがよかった。	2
ESの添削・相談がよかった。	2
面接指導がよかった。	1

よかった点	件数
他の支援センターの紹介もしてくれてよかった。	1
研究室・ゼミで会社を紹介してくれてよかった。	1

こうして欲しかった点	件数
大企業の情報量を増やしてほしい。	1

こうして欲しかった点	件数
緊急の相談に乗ってほしい。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（薬食生命科学総合学府（食品系））

よかった点	件数
相談に親身になってくれたのがよかった。	7
面接指導がよかった。	5

よかった点	件数
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	4

こうして欲しかった点	件数
情報の周知をしてほしい。	3

こうして欲しかった点	件数
キャリア支援センターの周知・アピールをして欲しかった。	2

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（国際関係学研究科）

よかった点	件数
相談に親身になってくれたのがよかった。	1

よかった点	件数
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（看護学研究科）

よかった点	件数
相談に親身になってくれたのがよかった。	1
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	1

よかった点	件数
OB・OGの体験談を聞いたのがよかった。	1
基本的な就活のしかたの講座がありよかった。	1

こうして欲しかった点	件数
キャリア支援センターの周知・アピールをして欲しかった。	1

こうして欲しかった点	件数
面接練習の小鹿キャンパス枠を増やしてほしい。	1

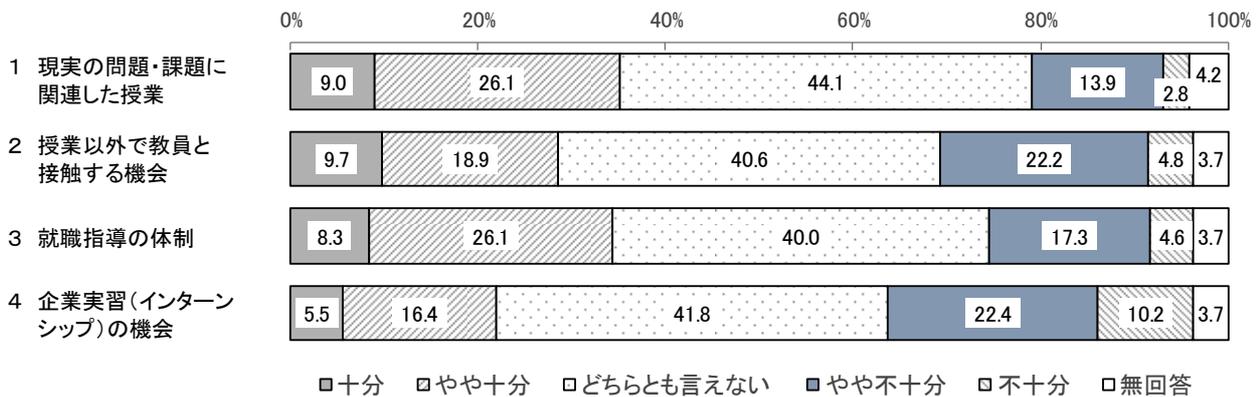
※学部・学府・研究科別では回答数が2つ以上のものを掲載している。ただし、回答数が2つ以下しかないものは学部・学府・研究科別では回答数が2つ以下でも掲載している。
国際関係学研究科のこうして欲しかった点、経営情報イノベーション研究科では自由記述回答が0件であった為、掲載はしていない。

3 就職活動と本学卒業後の最初の勤務先について

就職活動支援の評価（5段階評価）

在学中の就職活動支援について4つの項目について、「1」を「十分」、「5」を「不十分」とする5段階での評価を尋ねた。「十分」という回答が最も多いのは、「2 授業以外で教員と接触する機会」9.7%で、次いで「1 現実の問題・課題に関連した授業」9.0%である。

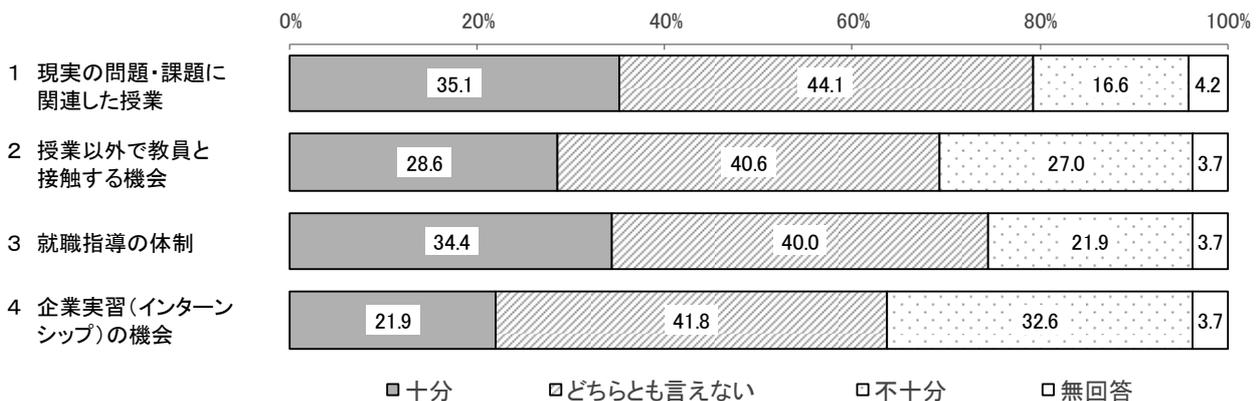
図 就職活動支援の評価（5段階評価）



就職活動支援の評価（3段階評価）

また、「1」、「2」を合算した『十分だった』、『どちらとも言えない』、「4」、「5」を合算した『不十分だった』の3段階評価としたところ、評価が最も多い項目は「1 現実の問題・課題に関連した授業」35.1%で、次いで「3 就職指導の体制」34.4%である。

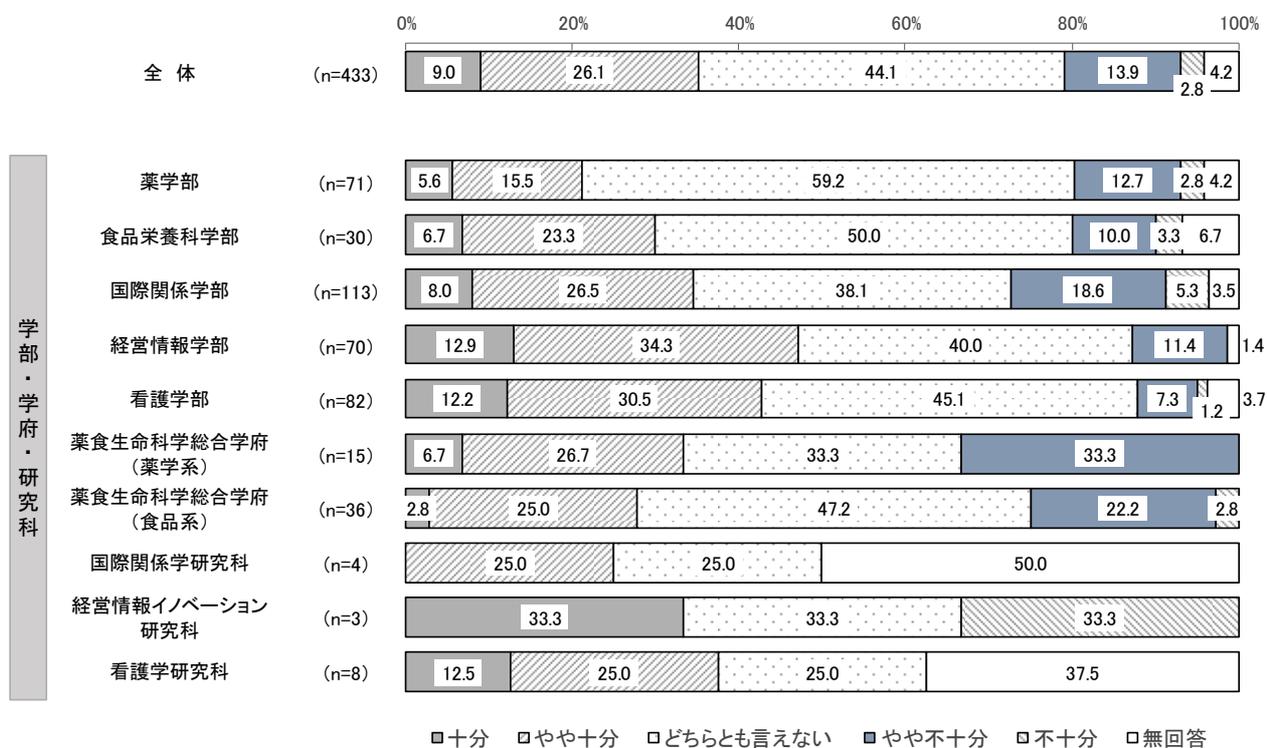
図 就職活動支援の評価（3段階評価）



就職活動支援の評価（5段階評価）学部・学府・研究科別クロス集計

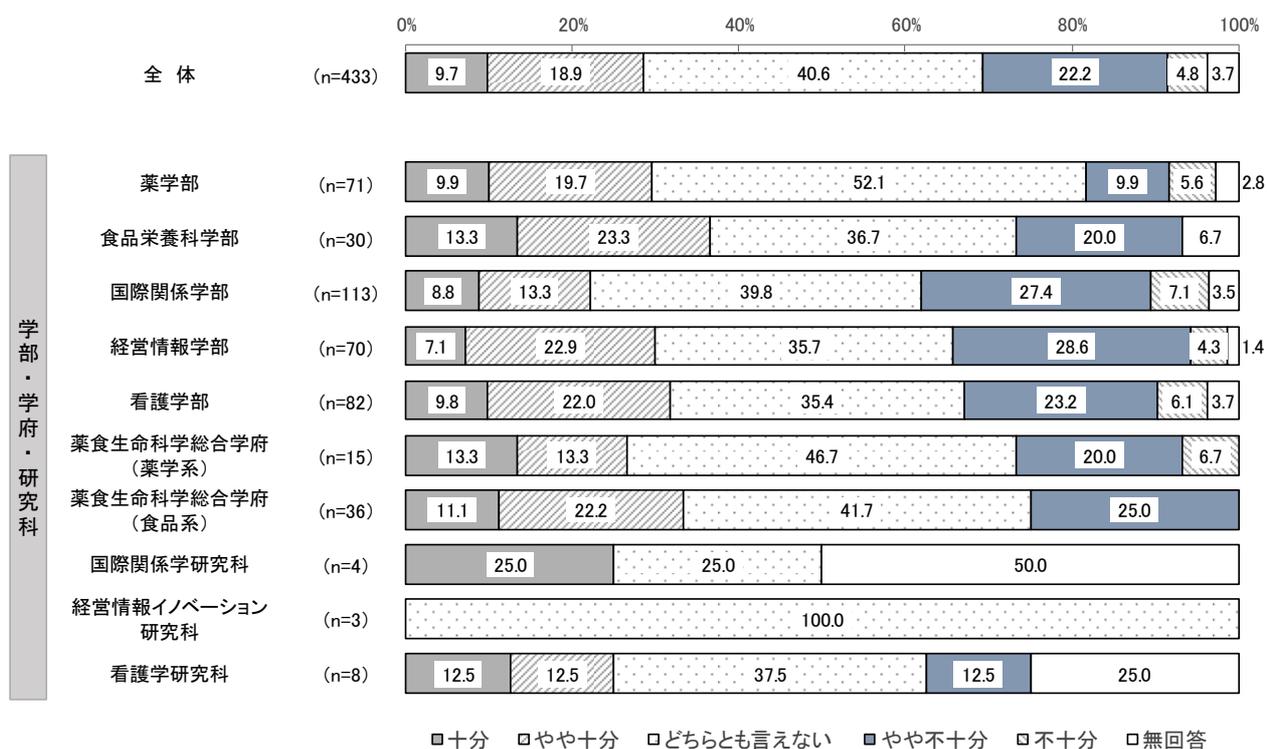
1 現実の問題・課題に関連した授業

図 1 現実の問題・課題に関連した授業



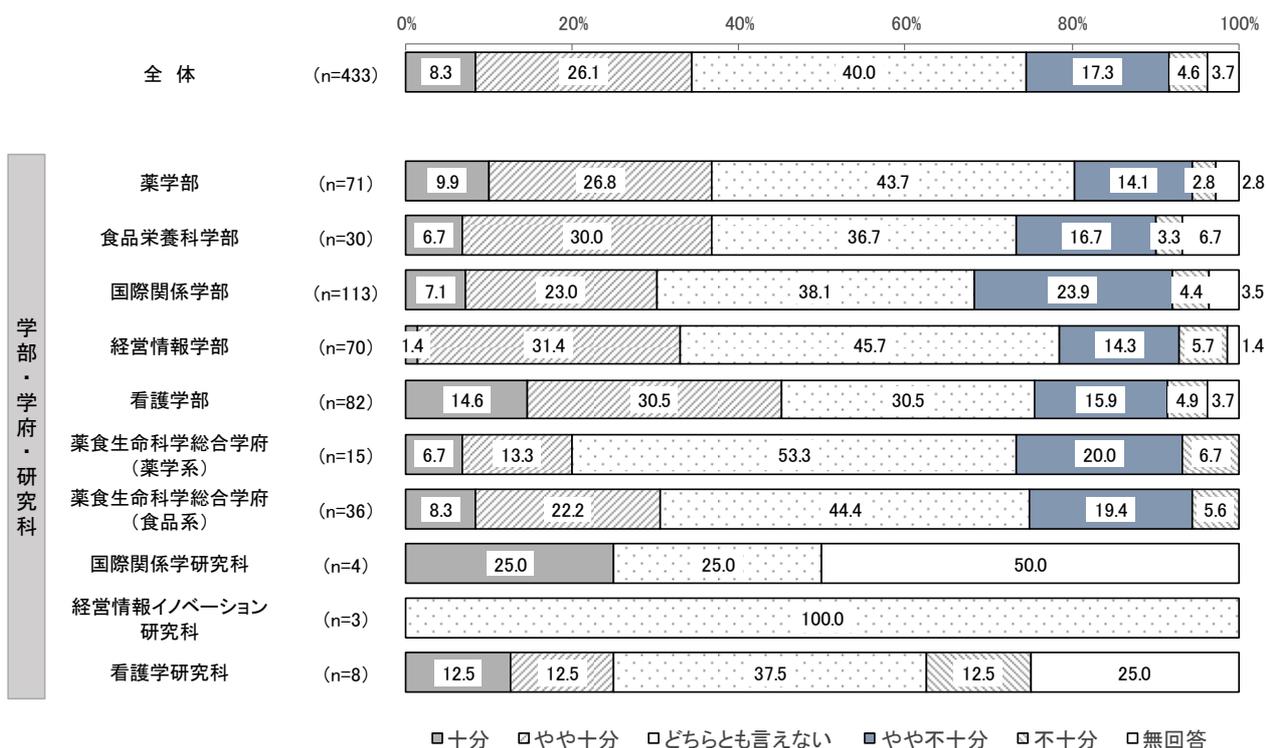
2 授業以外で教員と接触する機会

図 2 授業以外で教員と接触する機会



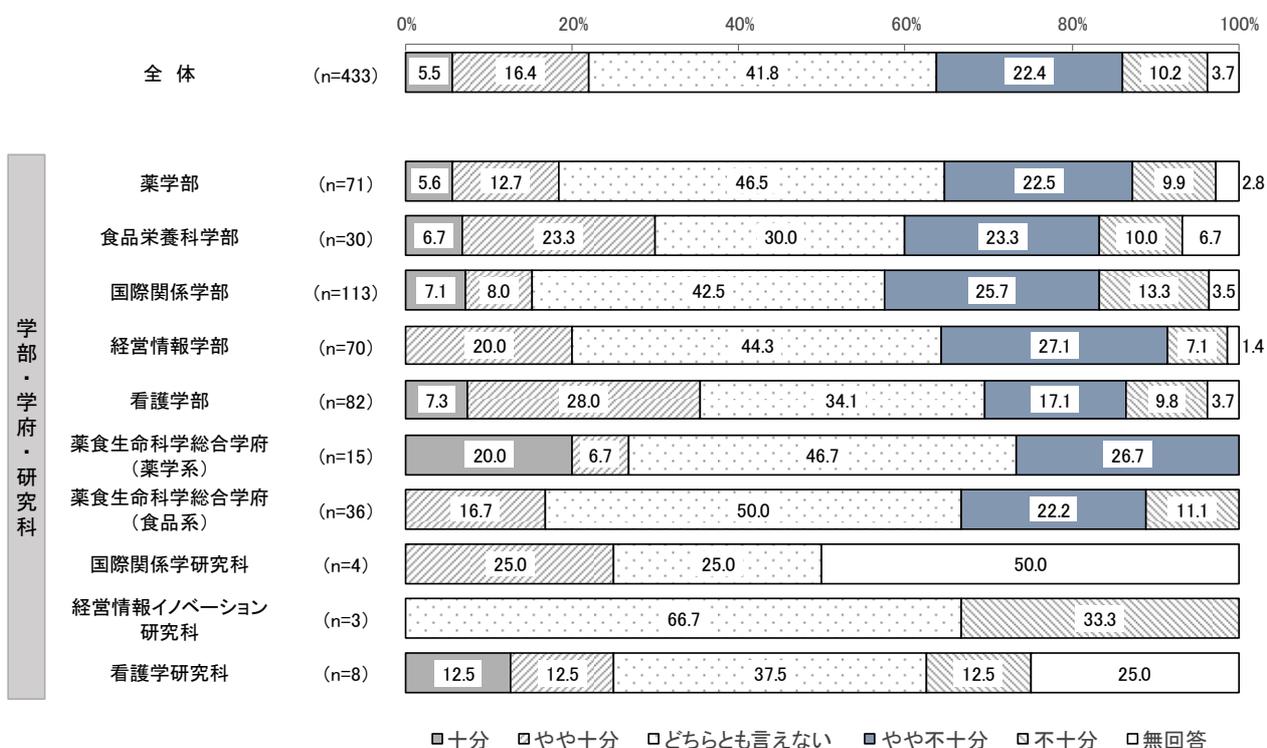
3 就職指導の体制

図 3 就職指導の体制



4 企業実習（インターンシップ）の機会

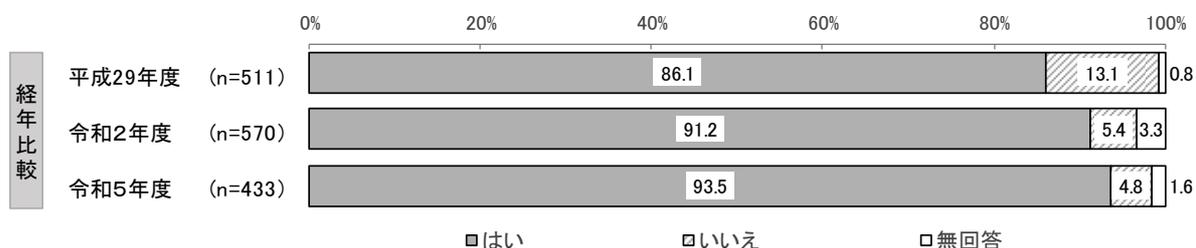
図 4 企業実習（インターンシップ）の機会



就職活動（公務員試験等を含む）の有無

就職活動（公務員試験等を含む）の有無について尋ねたところ、「はい」93.5%が最も多くなっている。なお、平成29年度、令和2年度ともに85.0%を超えていた。

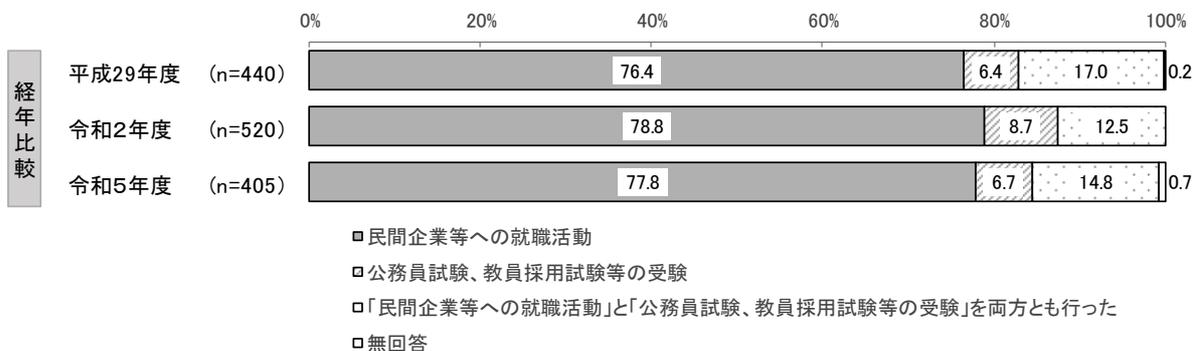
図 就職活動（公務員試験等を含む）の有無



就職活動の内容

就職活動の内容について尋ねたところ、「民間企業等への就職活動」77.8%が最も多くなっている。なお、平成29年度、令和2年度ともに75.0%を超えていた。

図 就職活動の内容



就職活動をしなかった理由

就職活動をしなかった理由について尋ねたところ、「就職活動せずに仕事を見つけた」23.8%が最も多く、次いで「卒業前にしていた仕事を続けた」と「大学院その他に進学した」がともに19.0%となっている。

表 就職活動をしなかった理由

	平成29年度		令和2年度		令和5年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
就職活動をせずに仕事を見つけた	13	19.4	6	19.4	5	23.8
卒業前にしていた仕事を続けた	6	9.0	8	25.8	4	19.0
事業を始めた（自営を含む）	2	3.0	2	6.5	-	-
大学院その他に進学した	35	52.2	8	25.8	4	19.0
進学も就職もしなかった	4	6.0	2	6.5	1	4.8
その他	4	6.0	1	3.2	2	9.5
無回答	3	4.5	4	12.9	5	23.8
調査数	67	100.0	31	100.0	21	100.0

卒業直後の状況

卒業直後の状況について尋ねたところ、「正規雇用の従業員」92.1%が最も多くなっている。なお、平成29年度、令和2年度ともに85.0%を超えていた。

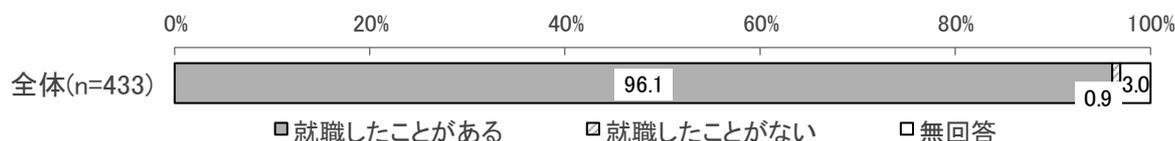
表 卒業直後の状況

	平成29年度		令和2年度		令和5年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
正規雇用の従業員	438	85.7	511	89.6	399	92.1
起業	2	0.4	2	0.4	-	-
非正規雇用の従業員	11	2.2	15	2.6	12	2.8
家業に従事	-	-	-	-	-	-
大学院生など他の学生	41	8.0	12	2.1	6	1.4
公務員・教員採用試験等の準備	2	0.4	2	0.4	4	0.9
家事・育児に専従	3	0.6	-	-	1	0.2
家族の介護に専従	-	-	-	-	-	-
無職で仕事を探していた	5	1.0	3	0.5	1	0.2
無職で特に何もしていなかった	1	0.2	3	0.5	1	0.2
その他	2	0.4	2	0.4	3	0.7
無回答	6	1.2	20	3.5	6	1.4
調査数	511	100.0	570	100.0	433	100.0

卒業後の就職有無（非正規も含む）

卒業後の就職有無（非正規も含む）について尋ねたところ、「就職したことがある」96.1%が最も多くなっている。

図 卒業後の就職有無（非正規も含む）



卒業後最初の勤務先の雇用形態

卒業後最初の勤務先の雇用形態について尋ねたところ、「正規雇用の従業員」97.8%が最も多くなっている。

表 卒業後最初の勤務先の雇用形態

	平成29年度		令和2年度		令和5年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
正規雇用の従業員	434	96.2	516	95.9	407	97.8
起業	1	0.2	2	0.4	-	-
非正規雇用の従業員	14	3.1	18	3.3	9	2.2
家業に従事	-	-	-	-	-	-
その他	2	0.4	-	-	-	-
無回答	-	-	2	0.4	-	-
調査数	451	100.0	538	100.0	416	100.0

卒業後最初の勤務先の所在地

卒業後最初の勤務先の所在地について尋ねたところ、「静岡県」58.7%が最も多くなっている。

表 卒業後最初の勤務先の所在地

現住所	回答数	パーセント
北海道	4	1.0
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	1	0.2
秋田県	-	-
山形県	2	0.5
福島県	1	0.2
茨城県	4	1.0
栃木県	1	0.2
群馬県	2	0.5
埼玉県	2	0.5
千葉県	10	2.4
東京都	43	10.3
神奈川県	20	4.8
新潟県	1	0.2
富山県	1	0.2
石川県	1	0.2

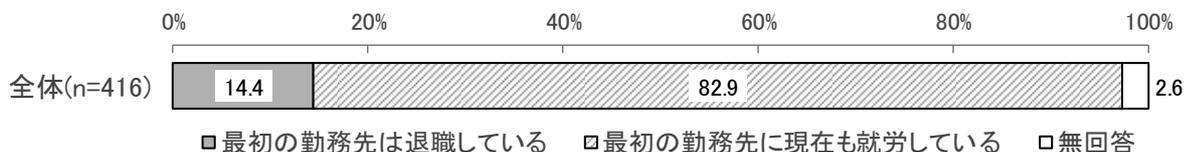
現住所	回答数	パーセント
福井県	2	0.5
山梨県	2	0.5
長野県	2	0.5
岐阜県	2	0.5
静岡県	244	58.7
愛知県	26	6.3
三重県	3	0.7
滋賀県	-	-
京都府	5	1.2
大阪府	9	2.2
兵庫県	7	1.7
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	1	0.2
岡山県	1	0.2
広島県	-	-

現住所	回答数	パーセント
山口県	1	0.2
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	2	0.5
佐賀県	1	0.2
長崎県	1	0.2
熊本県	-	-
大分県	1	0.2
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	1	0.2
海外	-	-
無回答	12	2.9
調査数	416	100.0

卒業後最初の勤務先の就労状況

卒業後最初の勤務先の就労期間について尋ねたところ、「最初の勤務先に現在も就労している」82.9%が最も多くなっている。

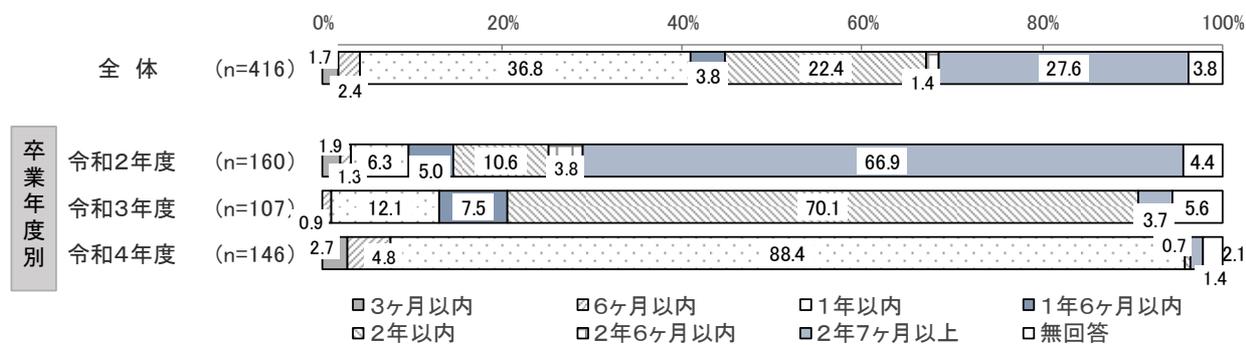
図 卒業後最初の勤務先の就労状況



卒業後最初の勤務先の就労期間

卒業後最初の勤務先の就労期間について尋ねたところ、「1年以内」36.8%が最も多く、次いで「2年7ヶ月以上」27.6%、「2年以内」22.4%の順である。

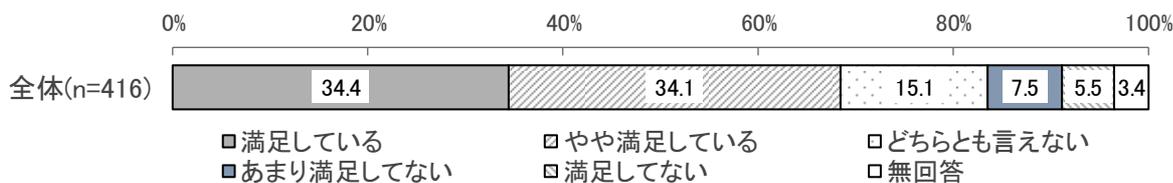
図 卒業後最初の勤務先の就労期間



卒業後最初の勤務先の満足度

卒業後最初の勤務先への満足度について尋ねたところ、「満足している」34.4%が最も多く、次いで「やや満足している」34.1%である。

図 卒業後最初の勤務先の満足度



4 現在の職場の状況について

現在の状況

現在の自身の状況について尋ねたところ、「正規雇用の従業員」90.3%が最も多くなっている。なお、平成29年度、令和2年度ともに85.0%を超えていた。

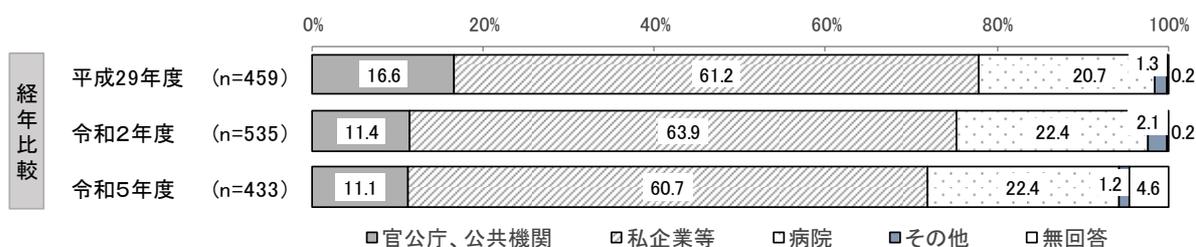
表 現在の状況

	平成29年度		令和2年度		令和5年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
正規雇用の従業員	439	85.9	514	90.2	391	90.3
起業	4	0.8	4	0.7	-	-
非正規雇用の従業員	16	3.1	17	3.0	24	5.5
家業に従事	-	-	-	-	-	-
大学院生など他の学生	39	7.6	9	1.6	5	1.2
公務員・教員採用試験等の準備	1	0.2	-	-	1	0.2
家事・育児に専従	1	0.2	2	0.4	1	0.2
家族の介護に専従	-	-	-	-	-	-
無職で仕事を探している	0	0.0	2	0.4	3	0.7
無職で特に何もしていない	2	0.4	2	0.4	2	0.5
その他	2	0.4	-	-	1	0.2
無回答	7	1.4	20	3.5	5	1.2
調査数	511	100.0	570	100.0	433	100.0

現在の勤務先

現在の勤務先について尋ねたところ、「民間企業」、「非営利組織（NPO、NGO）」、「自営（起業・家業等）」を合算した「私企業等」60.7%が最も多く、次いで「病院」22.4%である。

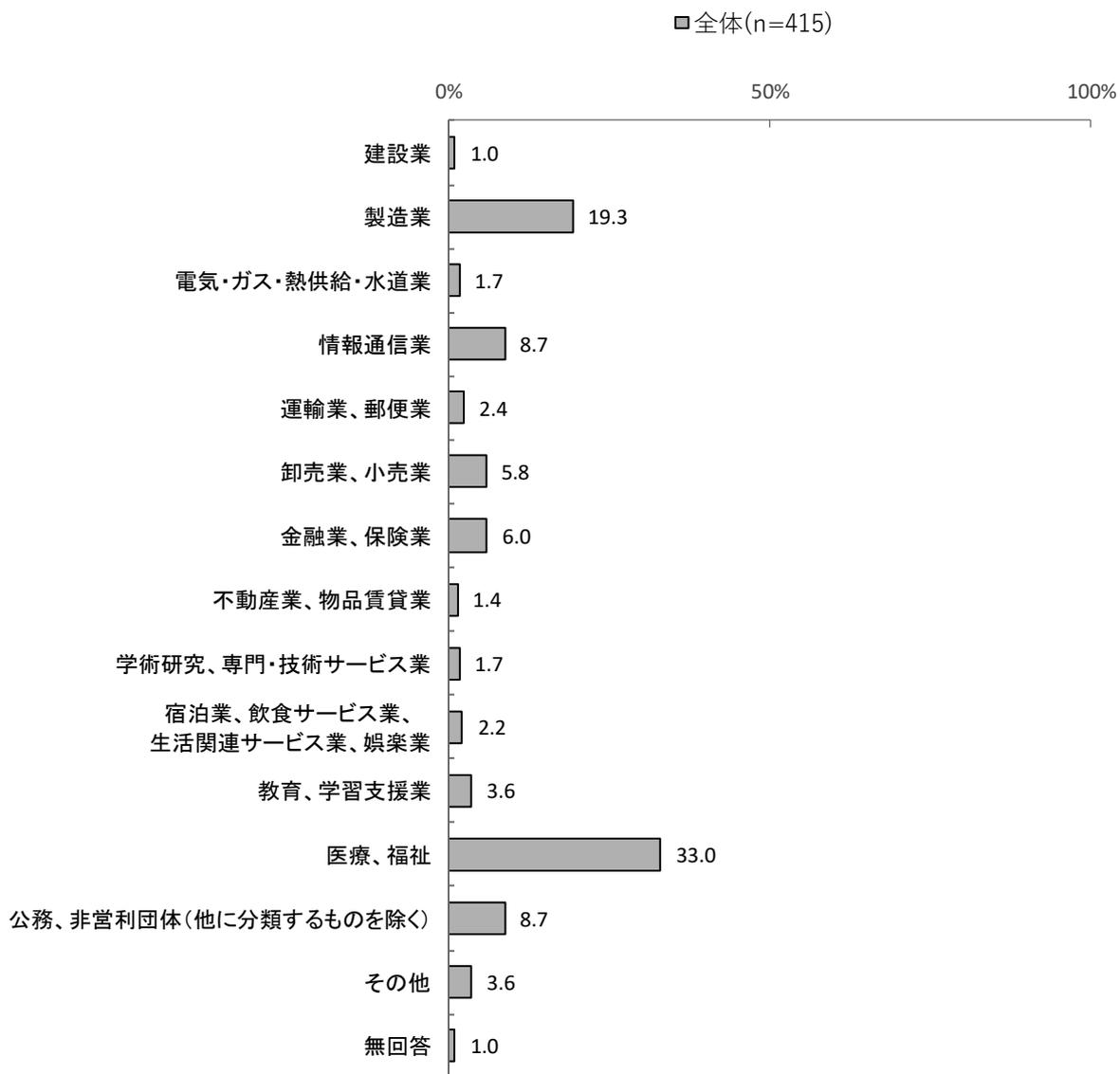
図 現在の勤務先



勤務先の業種

勤務先の業種について尋ねたところ、「医療、福祉」33.0%が最も多く、次いで「製造業」19.3%である。

図 勤務先の業種



現在の勤務先の所在地

現在の勤務先の所在地について尋ねたところ、「静岡県」59.0%が最も多くなっている。

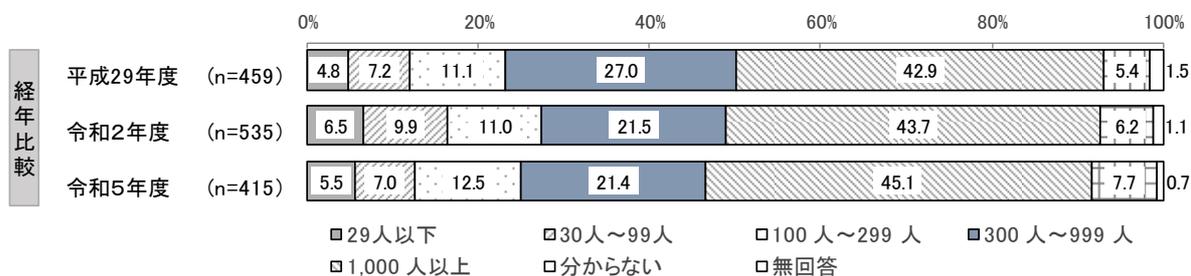
表 現在の勤務先の所在地

現住所	回答数	パーセント	現住所	回答数	パーセント	現住所	回答数	パーセント
北海道	5	1.2	福井県	2	0.5	山口県	1	0.2
青森県	-	-	山梨県	2	0.5	徳島県	-	-
岩手県	-	-	長野県	2	0.5	香川県	-	-
宮城県	2	0.5	岐阜県	2	0.5	愛媛県	-	-
秋田県	-	-	静岡県	245	59.0	高知県	-	-
山形県	1	0.2	愛知県	29	7.0	福岡県	3	0.7
福島県	-	-	三重県	2	0.5	佐賀県	2	0.5
茨城県	3	0.7	滋賀県	1	0.2	長崎県	-	-
栃木県	2	0.5	京都府	7	1.7	熊本県	-	-
群馬県	2	0.5	大阪府	9	2.2	大分県	1	0.2
埼玉県	5	1.2	兵庫県	7	1.7	宮崎県	-	-
千葉県	10	2.4	奈良県	-	-	鹿児島県	-	-
東京都	41	9.9	和歌山県	-	-	沖縄県	1	0.2
神奈川県	21	5.1	鳥取県	-	-	海外	1	0.2
新潟県	1	0.2	島根県	-	-	無回答	3	0.7
富山県	1	0.2	岡山県	1	0.2			
石川県	-	-	広島県	-	-	調査数	415	100.0

現在の勤務先の従業員規模

現在の勤務先の従業員規模について尋ねたところ、「1,000人以上」45.1%が最も多く、次いで「300人～999人」21.4%である。

図 現在の勤務先の従業員規模



正規雇用の従業員の現在の勤務先の従業員規模について尋ねたところ、「1,000人以上」46.5%が最も多く、次いで「300人～999人」22.0%である。

なお、「正規雇用の従業員」の場合、従業員規模が大きいほど勤務している割合が多くなる傾向は、平成29年度、令和2年度と同様である。

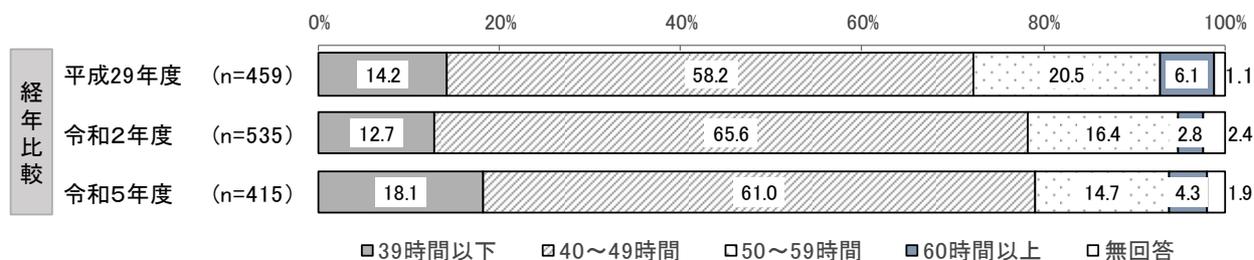
表 正規雇用の従業員の現在の勤務先の従業員規模

	平成29年度		令和2年度		令和5年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
29人以下	14	3.2	28	5.4	15	3.8
30人～99人	30	6.8	46	8.9	26	6.6
100人～299人	49	11.2	59	11.5	49	12.5
300人～999人	121	27.6	114	22.2	86	22.0
1,000人以上	195	44.4	232	45.1	182	46.5
分からない	23	5.2	29	5.6	30	7.7
無回答	7	1.6	6	1.2	3	0.8
調査数	439	100.0	514	100.0	391	100.0

現在の1週間の平均労働時間

現在の1週間の平均労働時間について尋ねたところ、「40～50時間未満」61.0%が最も多くなっている。

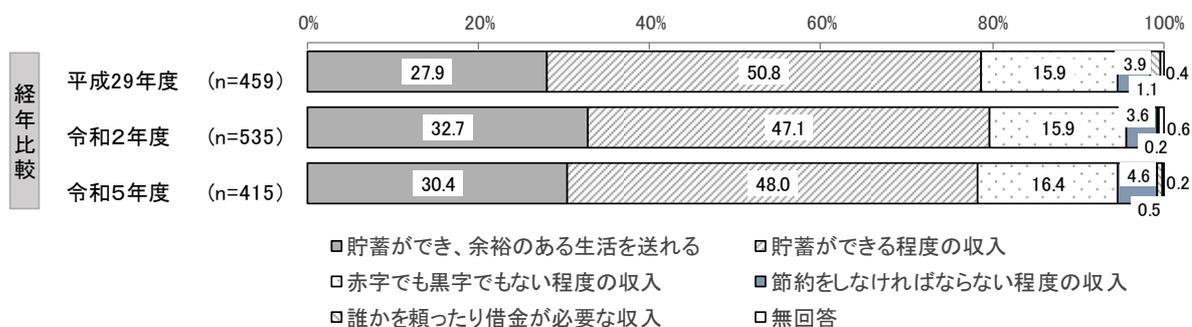
図 1週間の平均労働時間



現在の収入

現在の収入状況について尋ねたところ、「貯蓄ができる程度の収入」48.0%が最も多く、次いで「貯蓄ができ、余裕のある生活を送れる」30.4%である。令和2年度と比較すると、「貯蓄ができる程度の収入」が0.9ポイント増加しているが、「貯蓄ができ、余裕のある生活を送れる」が2.3ポイント減少している。

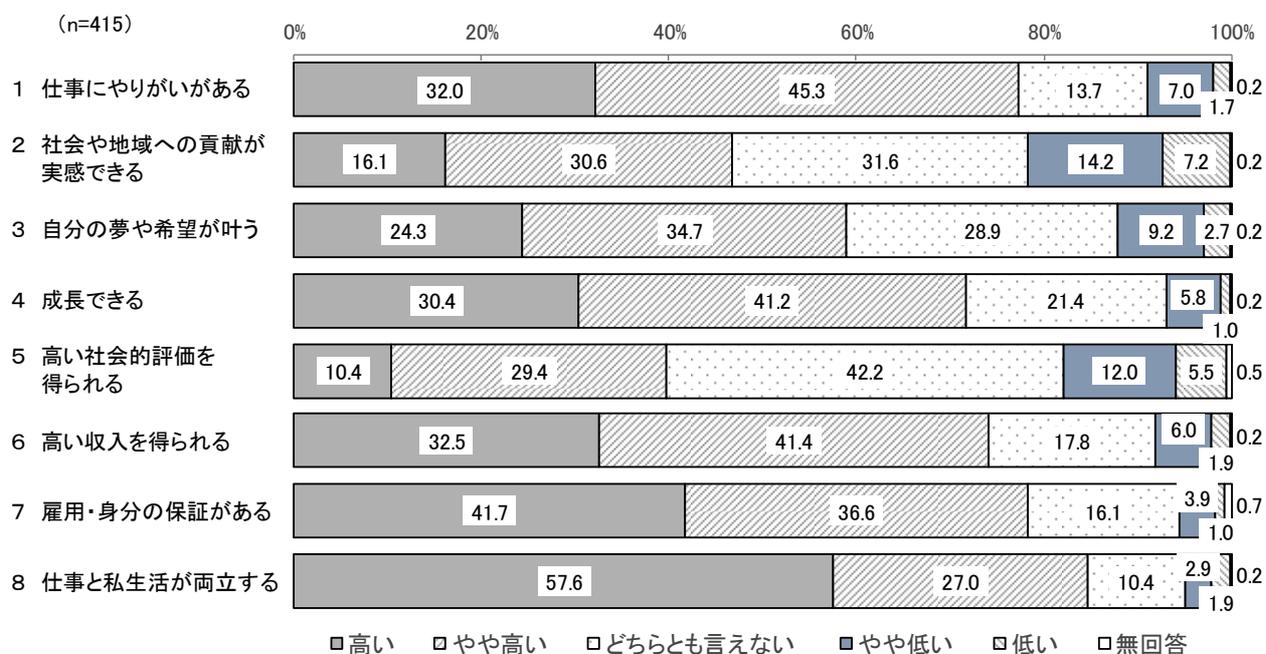
図 現在の収入



働き方の重要度・満足度

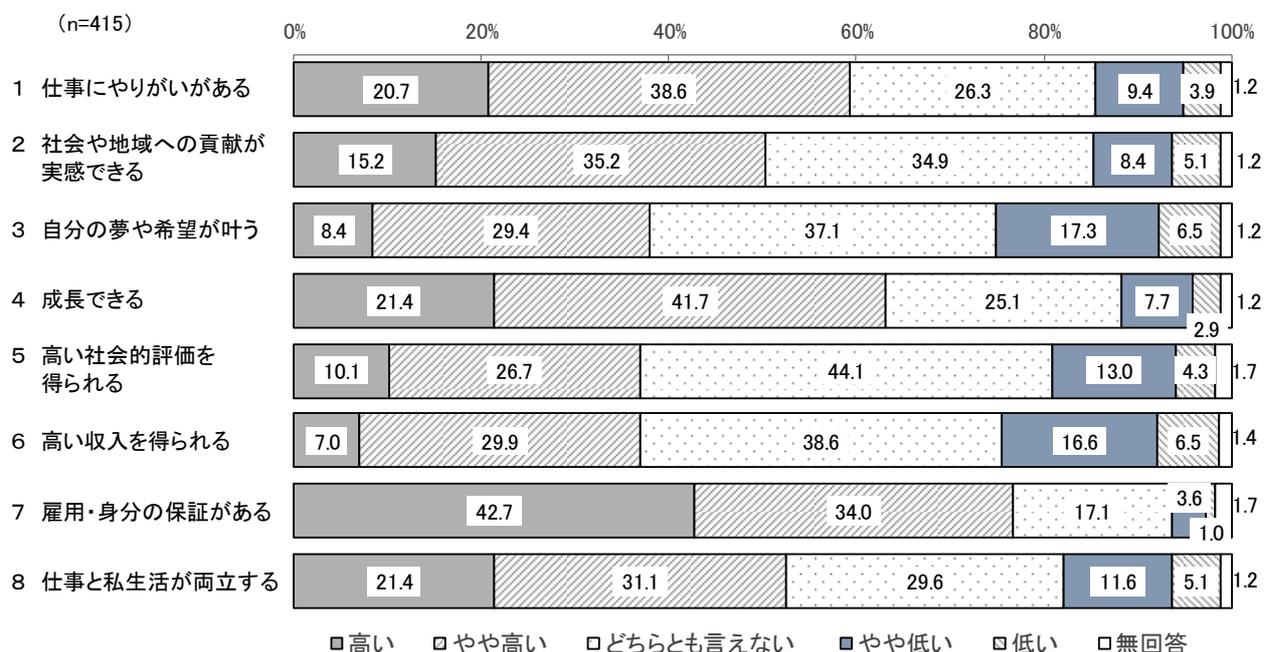
様々な働き方や働く理由に対して、その重要度について「1」を「高い」、「5」を「低い」とする5段階評価での評価をそれぞれ尋ねたところ、「高い」が最も多い項目は「8 仕事と私生活が両立する」57.6%で、次いで「7 雇用・身分の保証がある」41.7%、「6 高い収入を得られる」32.5%の順である。

図 働き方の重要度（5段階評価）



様々な働き方や働く理由に対して、その満足度について「1」を「高い」、「5」を「低い」とする5段階評価での評価をそれぞれ尋ねたところ、「高い」が最も多い項目は「7 雇用・身分の保証がある」42.7%で、次いで「4 成長できる」と「8 仕事と私生活が両立する」がともに21.4%、「1 仕事にやりがいがある」20.7%の順である。

図 働き方の満足度（5段階評価）

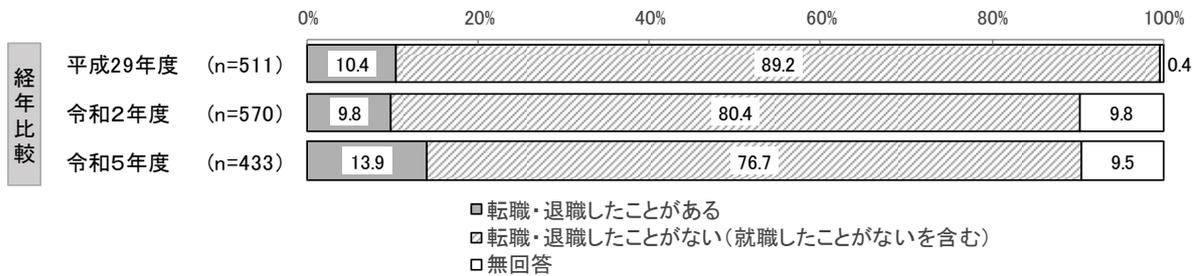


5 大学卒業後の働き方の変化について

卒業後の転職・退職有無（非正規も含む）

正規・非正規問わず、転職・退職の有無について尋ねたところ、「転職・退職したことがない（就職したことがないを含む）」76.7%が最も多くなっている。

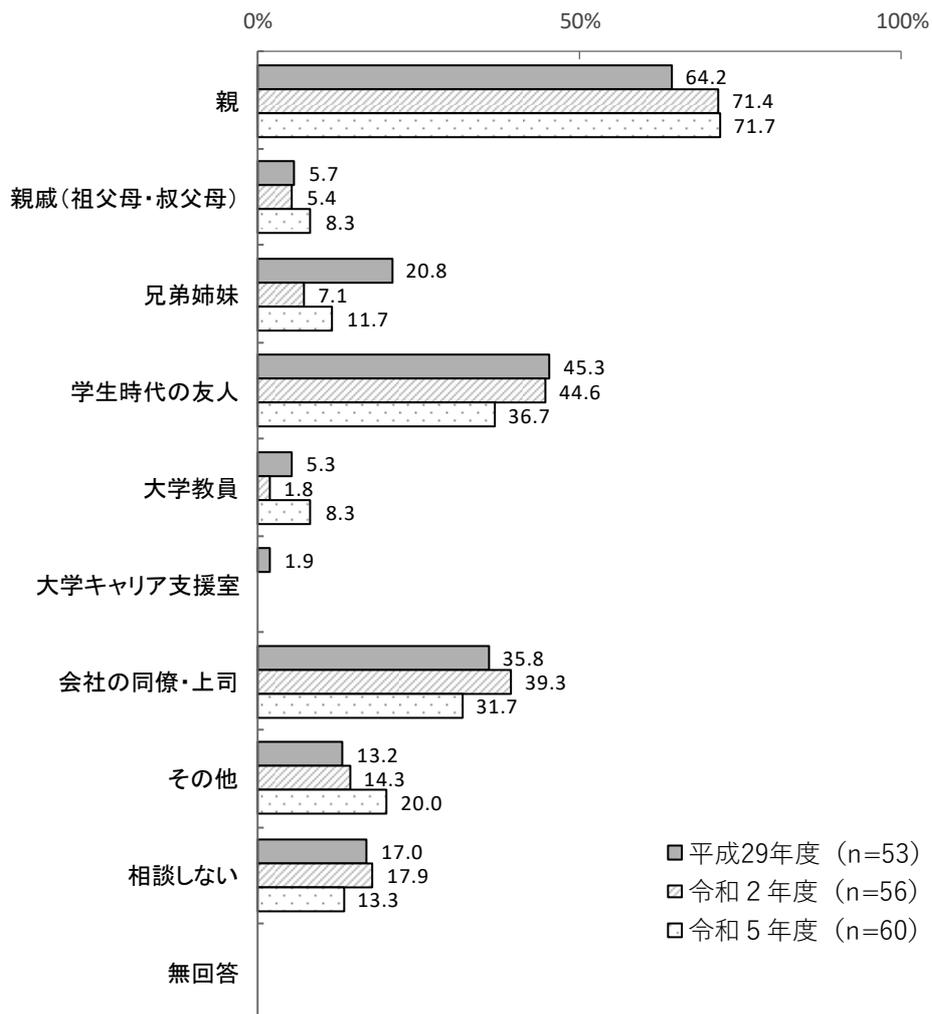
図 卒業後の転職・退職有無（非正規も含む）



転職・退職しようとした際の相談相手

転職・退職しようとした際、誰に相談したかについて尋ねたところ、「親」71.7%が最も多く、次いで「学生時代の友人」36.7%、「会社の同僚・上司」31.7%の順である。また、令和2年度と比較すると「学生時代の友人」が7.9ポイント減少しており、「大学教員」が6.5ポイント増加している。

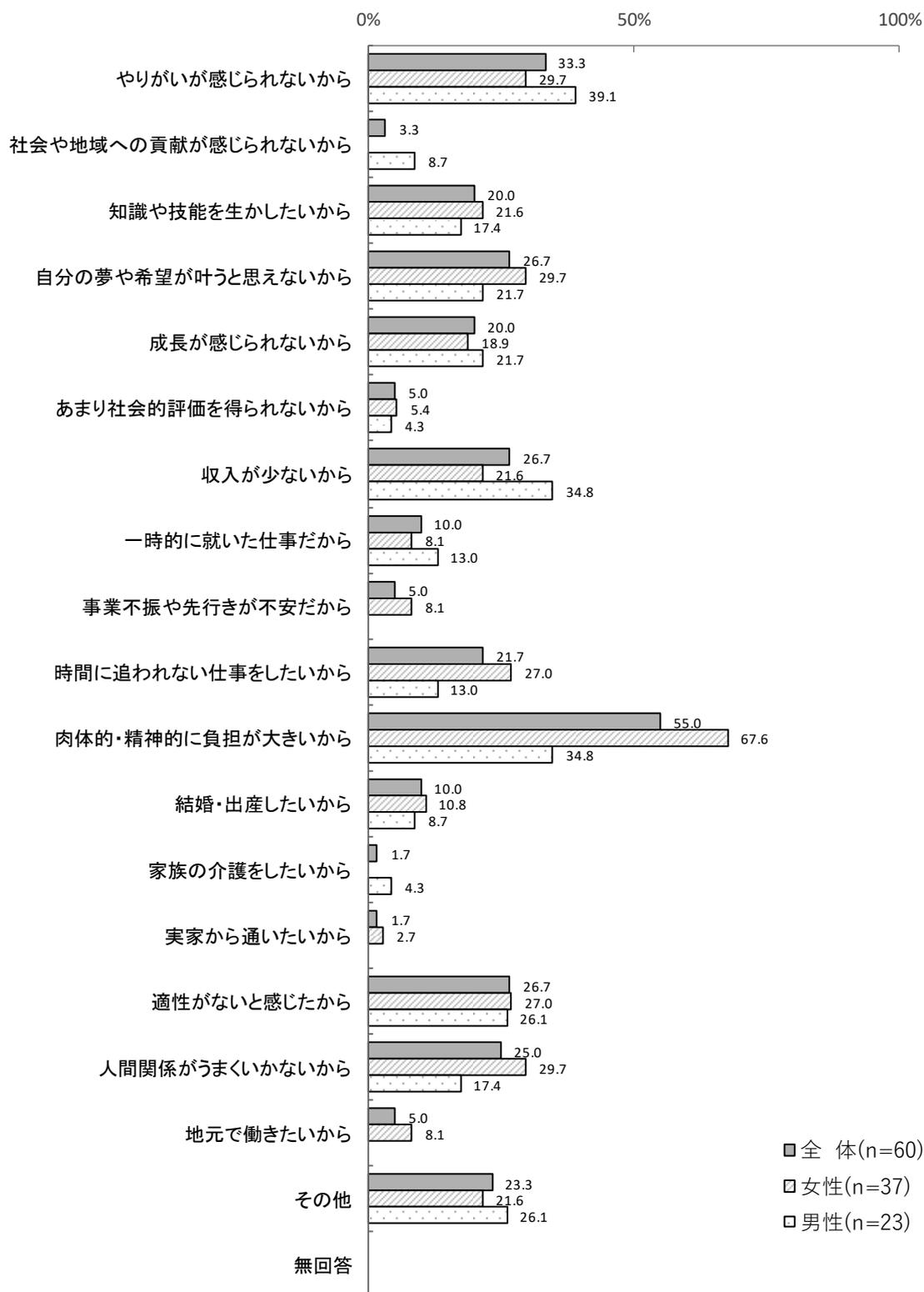
図 転職・退職しようとした際の相談相手



転職・退職した理由

転職・退職した理由について尋ねたところ、「肉体的・精神的に負担が大きいから」55.0%が最も多く、次いで「やりがいを感じられないから」33.3%、「自分の夢や希望が叶うと思えないから」「収入が少ないから」「適性がないと感じたから」がともに26.7%、「人間関係がうまくいかないから」25.0%の順である。

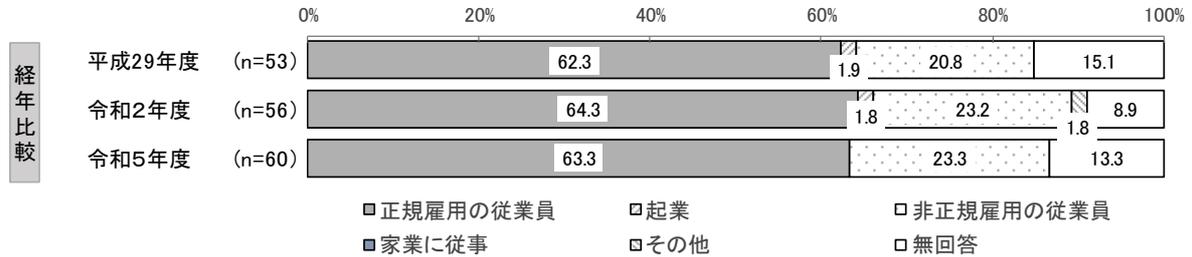
図 転職・退職した理由



卒業後二番目の勤務先の雇用形態

卒業後二番目の勤務先の雇用形態について尋ねたところ、「正規雇用の従業員」63.3%が最も多く、次いで「非正規雇用の従業員」23.3%である。

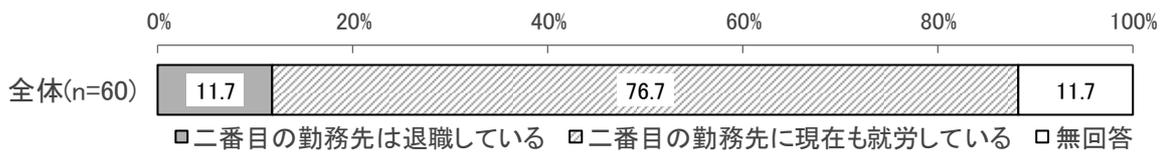
図 卒業後二番目の勤務先の雇用形態



卒業後二番目の勤務先の就労状況

卒業後二番目の勤務先の就労期間について尋ねたところ、「二番目の勤務先に現在も就労している」76.7%が最も多くなっている。

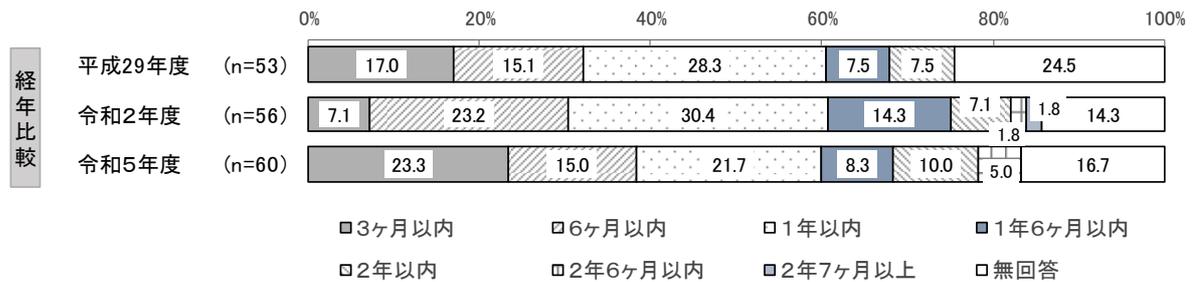
図 卒業後二番目の勤務先の就労状況



卒業後二番目の勤務先の就労期間

卒業後二番目の勤務先の就労期間について尋ねたところ、「3ヶ月以内」23.3%が最も多く、次いで「1年以内」21.7%である。

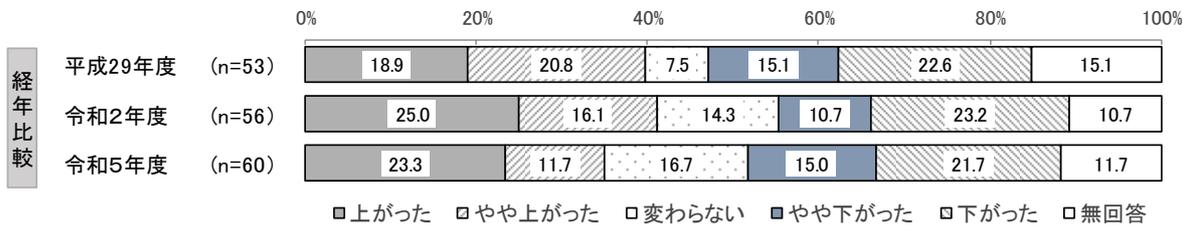
図 卒業後二番目の勤務先の就労期間



卒業後二番目の勤務先に転職しての収入の変化

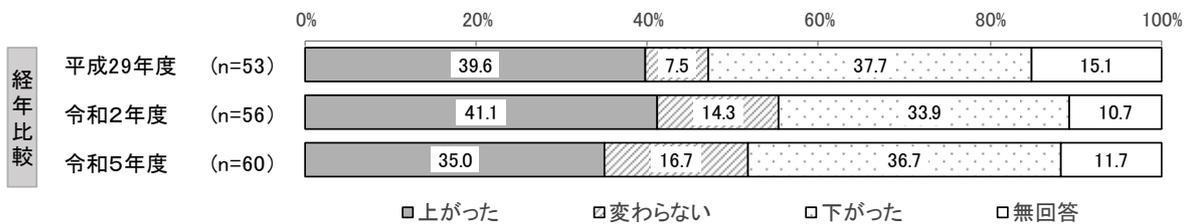
卒業後二番目の勤務先に転職してからの収入の変化（5段階評価）について尋ねたところ、「上がった」23.3%が最も多く、次いで「下がった」21.7%である。

図 卒業後二番目の勤務先に転職しての収入の変化（5段階評価）



卒業後二番目の勤務先に転職してからの収入の変化（3段階評価）について尋ねたところ、「やや下がった」、「下がった」を合算した『下がった』36.7%が最も多く、次いで「上がった」、「やや上がった」を合算した『上がった』35.0%である。

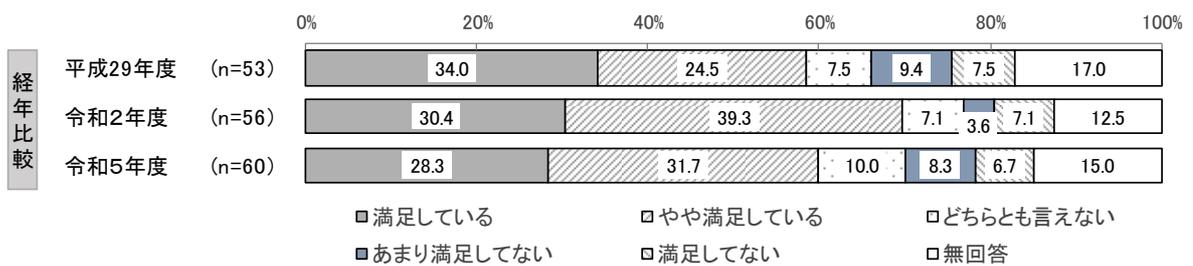
図 卒業後二番目の勤務先に転職しての収入の変化（3段階評価）



卒業後二番目の勤務先の満足度

卒業後二番目の勤務先への満足度について尋ねたところ、「やや満足している」31.7%が最も多く、次いで「満足している」28.3%である。

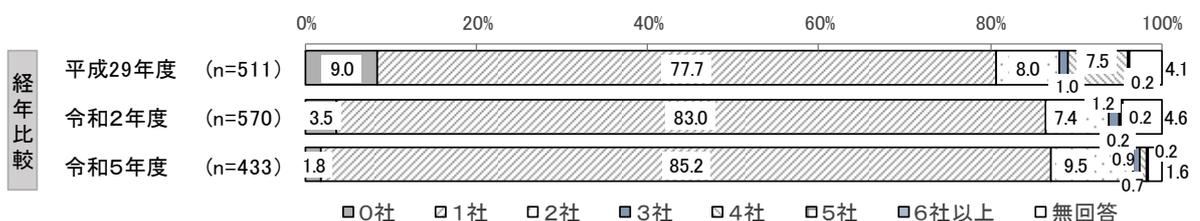
図 卒業後二番目の勤務先の満足度



卒業後からこれまでに勤務した企業数（公務員、自営を含む）

卒業後からこれまで勤務した企業数について尋ねたところ、「1社」85.2%が最も多くなっている。

図 卒業後からこれまでに勤務した企業数（公務員、自営を含む）

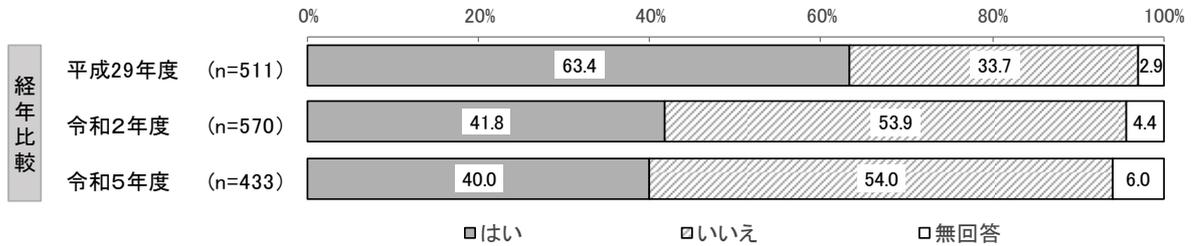


6 卒業後の本学とのつながりについて

卒業後の本学への訪問有無

卒業後の本学への訪問有無について尋ねたところ、「いいえ」54.0%が最も多くなっている。また、本学を訪問する卒業生は年々減少している。

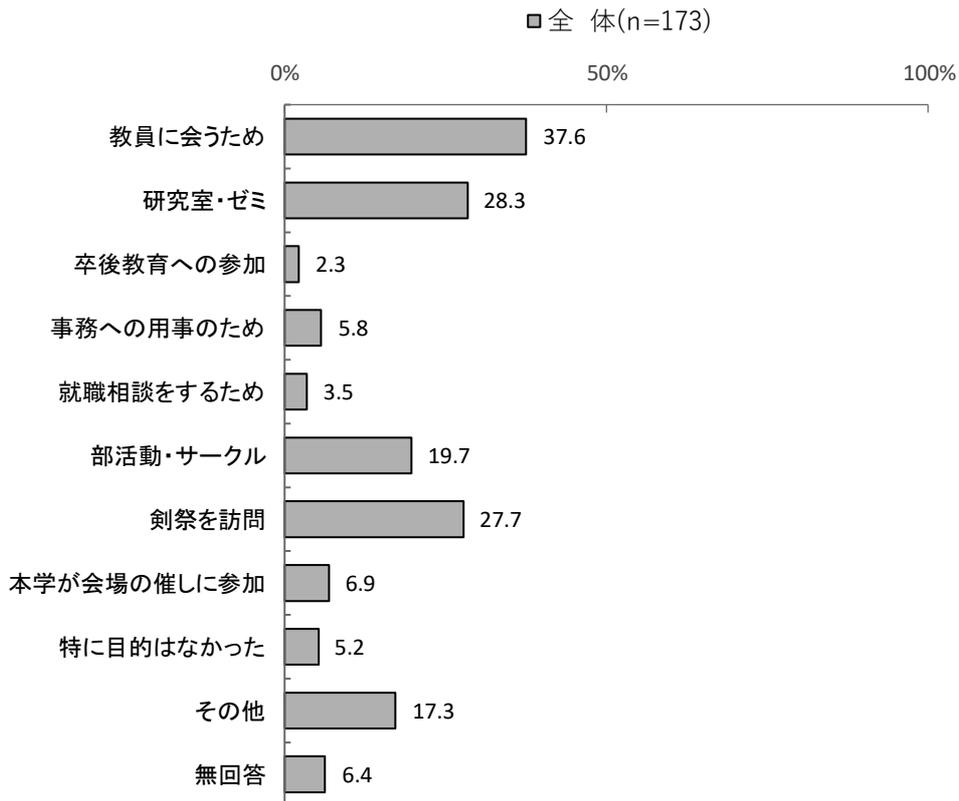
図 卒業後の本学への訪問有無



本学への訪問目的

本学への訪問目的について尋ねたところ、「教員に会うため」37.6%が最も多く、次いで「研究室・ゼミ」28.3%、「剣祭を訪問」27.7%、「部活動・サークル」19.7%の順である。

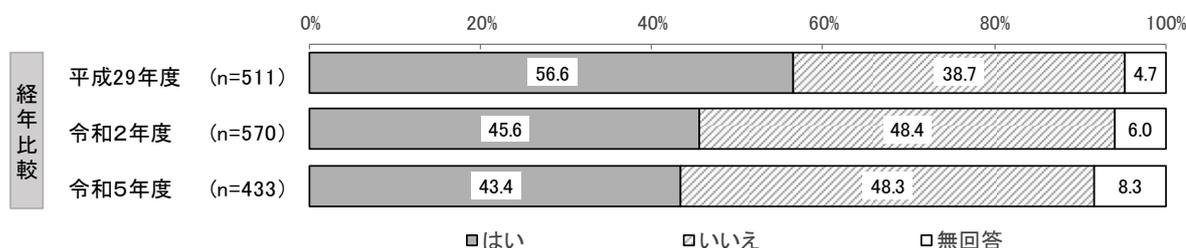
図 本学への訪問目的



卒業後に本学の教員との連絡有無

卒業後に本学の教員との連絡有無について尋ねたところ、「いいえ」48.3%が最も多くなっている。また、本学の教員と連絡する卒業生は年々減少している。

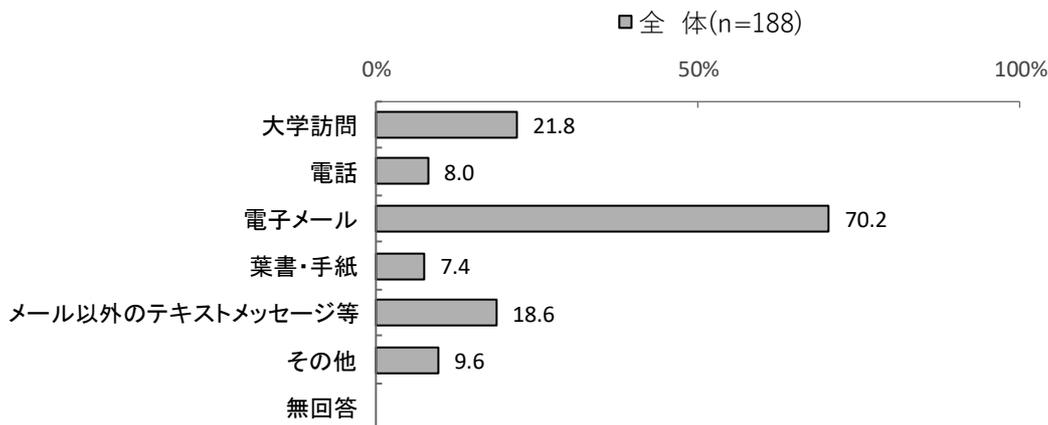
図 卒業後に本学の教員との連絡有無



本学の教員との連絡手段

連絡方法について尋ねたところ、「電子メール」70.2%が最も多く、次いで「大学訪問」21.8%である。

図 本学の教員との連絡手段

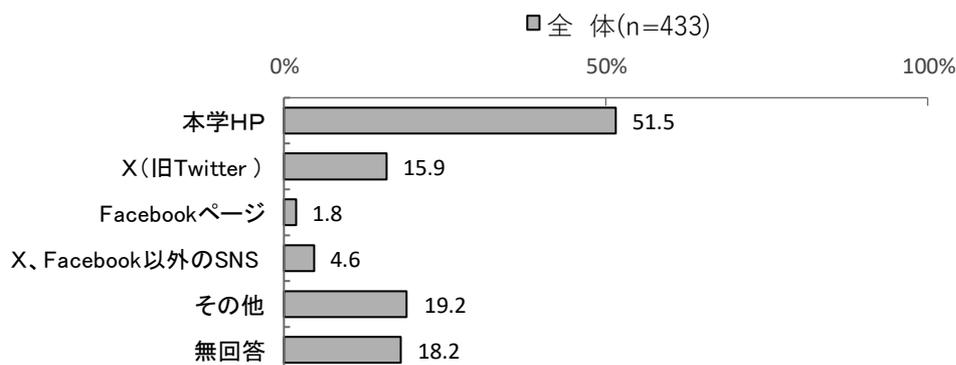


※「メール以外のテキストメッセージ等」は「その他」で「LINE」、「Facebook」、「SNS」等と記入した回答者を合算したものの。

本学の情報の入手方法

本学の情報を得る方法について尋ねたところ、「本学HP」51.5%が最も多く、次いで「その他」19.2%である。「その他」では教員、後輩、サークル仲間等と連絡を取り合っているといった意見が多く見られた。

図 本学の情報の入手方法



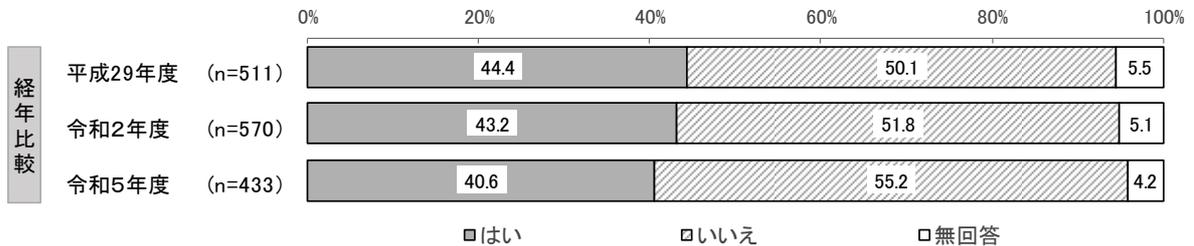
※「X、Facebook以外のSNS」は「その他」で「Instagram」、「LINE」、「SNS」等と記入した回答者を合算したものの。

7 本学在学生に向けて、卒業生として伝えたいことについて

OB・OG懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力の可否

後輩のための協力意向について尋ねたところ、「いいえ」55.2%が最も多くなっている。

図 OB・OG懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力の可否



働くということについて気づいたこと

「働くことについて気づいたこと」について自由記述形式で尋ねると、全体として職務を遂行する上での心構え、就労を継続していくことに関して重要なポイントが多かった。

職務を遂行する上での心構えとしては、「責任（責任感）」という語について語られることが多かった。「お金」、「伴う」や「実感」と結びつくことが多く、言動や行動に責任が伴うということ、お金をもらうことはそれなりの責任を伴うということ、という回答があった。また「責任（責任感）」は「学生」、「社会人」や「行動」などの語とともに語られることも多く、社会人の仕事には常に責任がつきまとう、働くということが社員（職員）の一員として、また会社全体の責任に関わることを痛感した、という回答があった。

これら以外にも「経験」が結びついていることが多く、学生時代に様々な経験をすべき、という回答があった。

就労を継続していくことについては、「人間関係」という語について語られることが多く、職場の人間関係がとても大切だと気づいた、人間関係が仕事を続けられるカギといっても過言ではないこと、といった回答があった。また「人間関係」と「やりがい」がともに語られているときは、やりがいよりも人間関係を重要視した方がよいという意見があり、人間関係の方がより重要度が高いことが見受けられた。

これら以外にも「時間」などの語について語られることも多く、決められた就業時間で成果を出す大変さと難しさ、自分の時間が無くなる、という回答があった。

そのほかにも、後輩に伝えたいと思っていること

「後輩に伝えたいと思っていること」について自由記述形式で尋ねると、回答は、大学時代にやっておいた方が良く、就職活動の中で実践する方が良く、社会人生活についての三つに大別できた。

大学時代にやっておいた方が良く、こととしては、「勉強」や「経験」という語について語られることが多く、なるべく大学時に資格を取得した方が良く、色々な経験をした方がよい、を含めて様々な経験をすることを促す回答があった。また、これらの語とともに「遊ぶ」という語について語られることが多く、「社会人になると自由になる時間がない」ため、友達との時間ややりたいことなど有意義な時間の使い方をした方が良く、といった回答があった。

就職活動の中で実践する方が良く、こととしては、「企業」、「良い」が結びついていることが多く、自身の専門分野外も含めた広い視野で企業研究すると良く、より多くの企業を見た方が良く、という回答があった。

社会人生活については、「仕事」、「重要」や「大切」という語について語られることが多く、あいさつをしっかりするのが何よりも大切、職場の人間関係は大事、といった挨拶やコミュニケーション能力の重要性を説く回答があった。また、自分の適性を見極めるためには実際に働いてみるのが重要であり、合わなければ転職をすればよい、といった回答もあった。

8 新型コロナウイルスの影響について

新型コロナウイルスの影響による収入の変化

新型コロナウイルスの影響による収入の変化について尋ねたところ、「変わらない」83.6%が最も多く、以下「やや上がった」6.5%である。

性別で見ると、男性は、「変わらない」90.2%が全体と比較して多くなっている。

学部・学府・研究科別で見ると、食品栄養科学部は、「やや上がった」13.3%が全体と比較して多くなっている。看護学部は、「やや上がった」17.1%が全体と比較して多くなっています。国際関係学研究科は、「下がった」25.0%が全体と比較して多くなっている。

現在の勤務先の従業員規模別で見ると、300人以上では、「やや上がった」が全体と比較して多くなっている。一方、30人～99人では、「やや下がった」と「下がった」が全体と比較して多くなっている。

図 新型コロナウイルスの影響による収入の変化



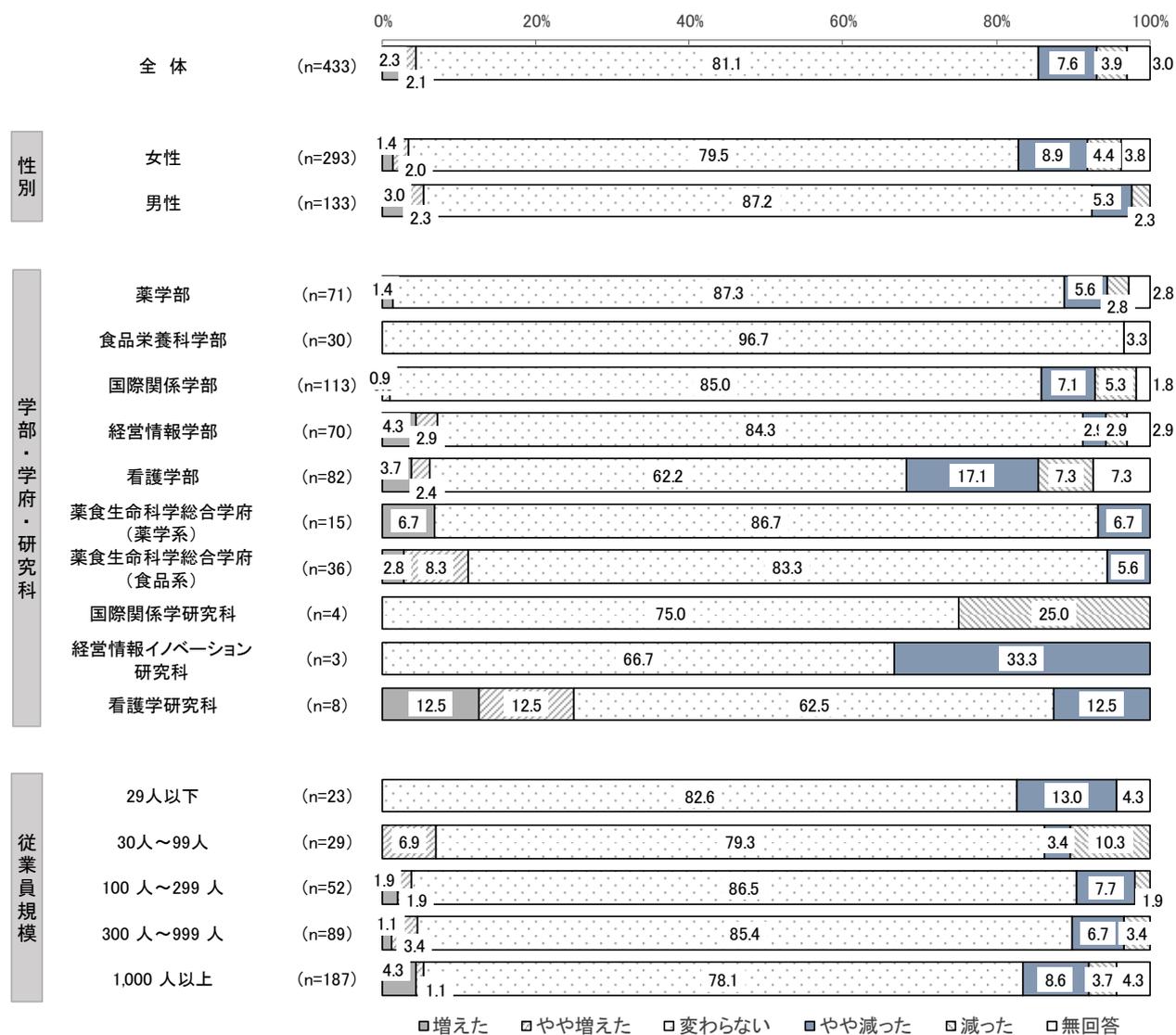
新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化

新型コロナウイルスの影響で勤務先の人員の増減について尋ねたところ、「変わらない」81.1%が最も多くなっている。

性別で見ると、男性は、「変わらない」87.2%が全体と比較して多くなっている。

学部・学府・研究科別で見ると、食品栄養科学部は、「変わらない」96.7%が全体と比較して多くなっている。看護学部は、「やや減った」17.1%が全体と比較して多くなっている。薬食生命科学総合学府（食品系）は、「やや増えた」8.3%が全体と比較して多くなっている。

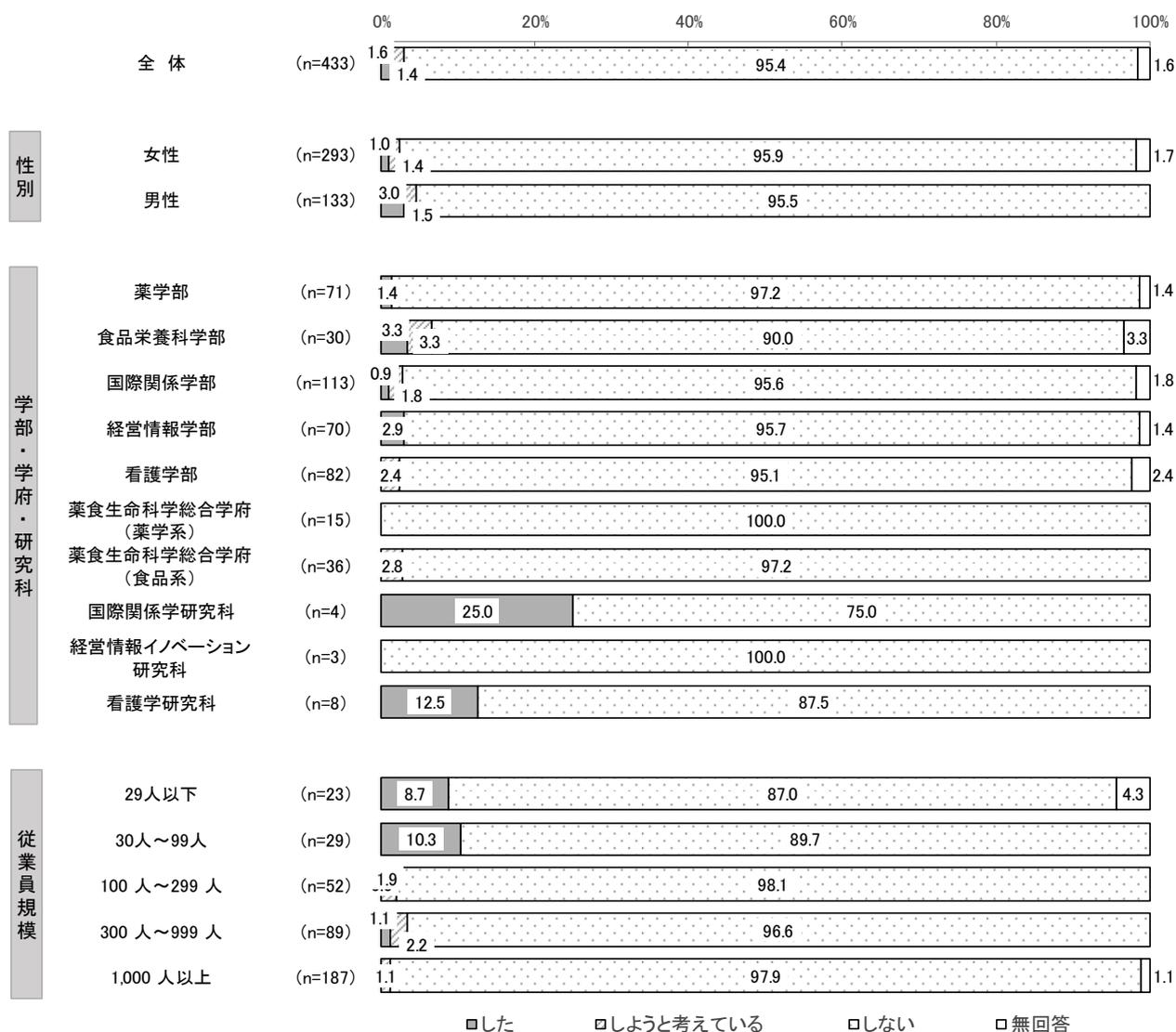
図 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化



新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無

新型コロナウイルスの影響で転職・退職有無について尋ねたところ、「しない」95.4%が最も多くなっている。

図 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無



新型コロナウイルスの影響による転職・退職した、または検討している具体的な理由

「新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無」の質問に「した（7人）」、「しようと考えている（6人）」と回答した13人に「新型コロナウイルスの影響による転職・退職した具体的な理由」について自由記述形式で尋ねたところ、8人が回答し、その内容は不安・不満に関する回答が多かった。

不安・不満の理由としては、採用試験時期に新型コロナウイルスが広まり焦って就職先を決めてしまった、業績不振による収入向上の見込みが低いこと、人手不足による時間外労働の増加、という人が見受けられた。

類似した回答として、新型コロナウイルスの流行が、ワークライフバランスや会社のサポート体制の気づきのきっかけとなった回答があった。

新型コロナウイルス単独の問題ではなく、雇用条件や就労環境が原因であり、新型コロナウイルスの流行がきっかけとなって、転職・退職を企図するに至った、またはそれらの問題点が顕在化した、と言える。

新型コロナウイルスの影響による職場の環境や処遇の変化

「新型コロナウイルスによる職場の環境や処遇への影響」について自由記述形式で尋ねると、勤務形態や仕事量と給与に関する回答が多かった。

勤務形態への影響としては、「リモートワーク」や「在宅勤務」という語について語られることが多かった。「導入」、「増加」と結びつくことが多く、職場に出勤せずに働く人の増加が見受けられた。また、「研修」という語は「オンライン」や「リモート」と結びつくことが多く、入社時研修がオンラインだったため他エリアの同期と交流する機会がなかった、3年目研修にて初めて対面で同期にあった、という回答があった。その他、「コミュニケーション」という語について語られることも多く、職場でのコミュニケーション機会の減少に言及する回答が複数あった。

仕事量への影響としては、「仕事」と「減少」、「増加」が共に結びついており、職種や会社によって影響の大きさが異なることが見受けられた。また、収入への影響については、「給料」・「ボーナス」と「変化」・「減少」が結びついていることが多く、仕事の減少から給与やボーナスが減少したという回答がある一方、変化していないという回答も多かった。病院関係で働く人では、コロナ病棟へ配属・派遣され手当をもらえたという回答も複数あった。

その他、コロナ禍に就職をしたためコロナ禍以前の状況を知らず分からないといった回答も複数あった。

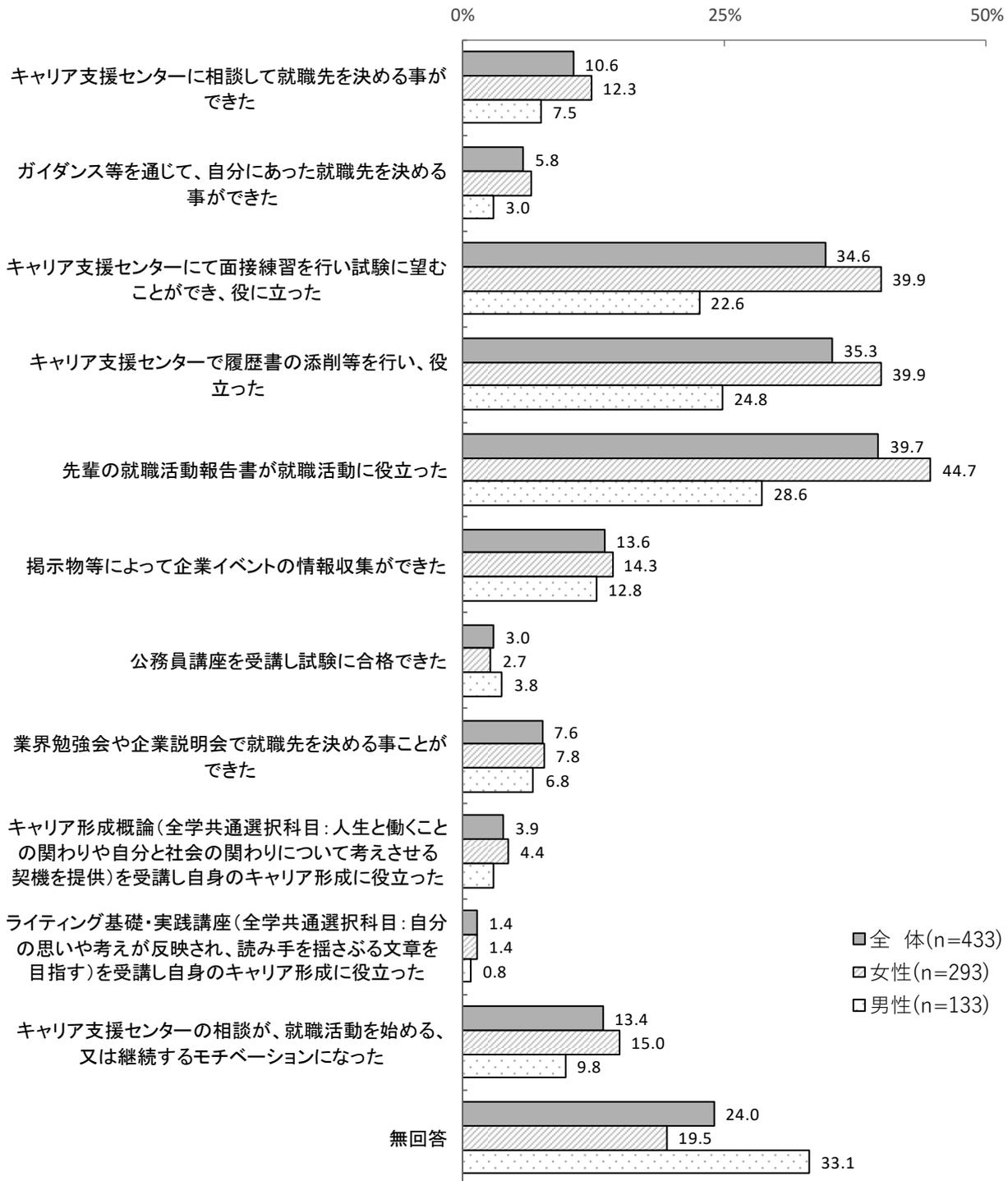
新型コロナウイルスによって家計だけではなく、人間関係や教育を受ける機会に影響があったことがうかがえる。5類に移行し規制も緩和され、徐々にコミュニケーションを図る機会も増えている傾向にあり、コロナ禍以前の日常が戻りつつあるようだ。

9 静岡県立大学キャリア支援センターについて

キャリア支援や就職ガイダンス等、就職活動に役立ったこと

本学のキャリア支援や就職ガイダンス等を経験して、就職活動に役立ったことについて尋ねたところ、「先輩の就職活動報告書が就職活動に役立った」39.7%が最も多く、次いで「キャリア支援センターで履歴書の添削等を行い、役立った」35.3%、「キャリア支援センターにて面接練習を行い試験に望むことができ、役に立った」34.6%である。

図 キャリア支援や就職ガイダンス等、就職活動に役立ったこと



就職に関して在学中にあれば良かったと思う支援

「就職に関して在学中にあれば良かったと思う支援」について自由記述形式で尋ねると、OB・OGとの対話機会、企業の紹介など情報の充実を求める回答と、面接練習・添削・試験対策といった実践的な支援を求める回答が多かった。

情報の充実については、OB・OGの生の声を聞く機会が多くほしかった、会社との交流機会、優良企業の紹介、推薦のある企業の紹介、といった回答があった。また、専門分野に合わせた支援を求める回答も複数あり、専門職向けの就職ガイダンスがあっても良かった、保健師の就活についてもっと手厚く説明してほしい、といった回答があった。

実践的な支援については、面接練習の拡充、オンライン面接の指導、履歴書の添削、公務員試験対策、SPI試験対策、といった回答があった。

キャリア支援センターの支援内容等をよく知らない、身近な存在ではないといった回答もあり、支援内容や各種情報を様々な手段で発信する必要性が感じられる。

キャリア支援センターに望むこと・意見・提案

「キャリア支援センターに望むこと、意見、提案」について自由記述形式で尋ねると、既存の支援内容のさらなる充実、キャリア支援センターの周知に関する回答が多かった。

キャリア支援センターに望むこととしては、県外企業への就職サポート、現在の就活に適した支援、一人一人に沿えるレベルで添削をやってほしかった、といった回答があった。

キャリア支援センターへの提案としては、キャリア支援センターの支援内容やサービスの広報・周知、キャンパス内にいくつかキャリア支援センターを設置してほしい、イベントや説明会の周知、といった回答があった。また、教員志望の学生がいれば全力でサポートしたい、OB・OG懇談会があればぜひ参加したい、といったサポート協力の回答も見受けられた。

その他意見としては、キャリア支援センターが役立った、もっと早くキャリア支援センターを活用すれば良かった、といった回答があった。学生にキャリア支援センターの存在をより認識してもらえそうな、広報・周知、情報発信が求められる。

4 付録

4 付録

I 概括集計結果

B3 卒業直後の自身の状況

調査数	進学者	正規雇用者	非正規雇用者	その他	無回答
433	6	399	12	10	6
100.0	1.4	92.1	2.8	2.3	1.4

B8 卒業後最初の勤務先に満足度

調査数	『満足』	どちらとも言えない	『不満』	無回答
416	285	63	54	14
100.0	68.5	15.1	13.0	3.4

D 1 正規・非正規問わず、転職・退職の有無

B 4 卒業後の就職有無（非正規も含む）

	調査数	転職・退職したことがある	転職・退職したことがない (就職したことがないを含む)	無回答
全体	433 100.0	60 13.9	332 76.7	41 9.5
就職したことがある	416 100.0	57 13.7	324 77.9	35 8.4

3年以内離職率（卒業年度別クロス）

	調査数	ある	ない	無回答
全体	433 100.0	60 13.9	332 76.7	41 9.5
令和2年度	169 100.0	34 20.1	118 69.8	17 10.1
令和3年度	112 100.0	13 11.6	94 83.9	5 4.5
令和4年度	149 100.0	13 8.7	118 79.2	18 12.1

D 6 卒業後二番目の勤務先に転職してからの収入の変化有無

調査数	『収入が増えた』	『収入が減った』	変わらない	無回答
60 100.0	21 35.0	22 36.7	10 16.7	7 11.7

D 7 卒業後二番目の勤務先への満足度

調査数	『満足』	『不満』	どちらとも言えない	無回答
60	36	9	6	9
100.0	60.0	15.0	10.0	15.0

C 1 現在の状況

調査数	進学者	正規雇用者	非正規雇用者	その他	無回答
433	5	391	24	7	6
100.0	1.2	90.3	5.5	1.6	1.4

F 3 現在の通勤・通学時間

	調査数	平均
全体	420 100.0	31.28
通勤時間	408 97.1	31.50
通学時間	5 1.2	29.60

C 5 現在の1週間の平均労働時間（社会生活基本調査基準）

調査数	3 9 時間 以下	4 0 ～ 4 8 時間	4 9 ～ 5 9 時間	6 0 時間 以上
407	75	253	61	18
100.0	18.4	62.2	15.0	4.4

C 5 現在の1週間の平均労働時間

調査数	3 9 時間 以下	4 0 ～ 4 9 時間	5 0 ～ 5 9 時間	6 0 時間 以上	無 回 答
415	75	253	61	18	8
100	18.1	61	14.7	4.3	1.9

C7 働き方の重要度・満足度

(A) あなたにとっての重要度

	調査数	高い	やや高い	どちらとも言えない	やや低い	低い	無回答
1 仕事にやりがいがある	415 100	133 32	188 45.3	57 13.7	29 7	7 1.7	1 0.2
2 社会や地域への貢献が実感できる	415 100	67 16.1	127 30.6	131 31.6	59 14.2	30 7.2	1 0.2
3 自分の夢や希望が叶う	415 100	101 24.3	144 34.7	120 28.9	38 9.2	11 2.7	1 0.2
4 成長できる	415 100	126 30.4	171 41.2	89 21.4	24 5.8	4 1	1 0.2
5 高い社会的評価を得られる	415 100	43 10.4	122 29.4	175 42.2	50 12	23 5.5	2 0.5
6 高い収入を得られる	415 100	135 32.5	172 41.4	74 17.8	25 6	8 1.9	1 0.2
7 雇用・身分の保証がある	415 100	173 41.7	152 36.6	67 16.1	16 3.9	4 1	3 0.7
8 仕事と私生活が両立する	415 100	239 57.6	112 27	43 10.4	12 2.9	8 1.9	1 0.2

(B) 現在の仕事の満足度

	調査数	高い	やや高い	どちらとも言えない	やや低い	低い	無回答
1 仕事にやりがいがある	415 100	86 20.7	160 38.6	109 26.3	39 9.4	16 3.9	5 1.2
2 社会や地域への貢献が実感できる	415 100	63 15.2	146 35.2	145 34.9	35 8.4	21 5.1	5 1.2
3 自分の夢や希望が叶う	415 100	35 8.4	122 29.4	154 37.1	72 17.3	27 6.5	5 1.2
4 成長できる	415 100	89 21.4	173 41.7	104 25.1	32 7.7	12 2.9	5 1.2
5 高い社会的評価を得られる	415 100	42 10.1	111 26.7	183 44.1	54 13	18 4.3	7 1.7
6 高い収入を得られる	415 100	29 7	124 29.9	160 38.6	69 16.6	27 6.5	6 1.4
7 雇用・身分の保証がある	415 100	177 42.7	141 34	71 17.1	15 3.6	4 1	7 1.7
8 仕事と私生活が両立する	415 100	89 21.4	129 31.1	123 29.6	48 11.6	21 5.1	5 1.2

2 調査結果集計結果（単純集計）

A1 本学を卒業されたのは、いつですか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※大学院を卒業されている方は、大学院を卒業した時期をお答えください。

調査数	平成29年9月	平成30年3月	平成30年9月	平成31年3月	令和元年9月	令和2年3月	無回答
433	0	169	1	111	2	147	3
100.0	0.0	39.0	0.2	25.6	0.5	33.9	0.7

A2 卒業された学部・大学院はどちらですか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※大学院を卒業されている方は、大学院の学府・研究科のみをお答えください。

調査数	薬学部	食品栄養科学部	国際関係学部	経営情報学部	看護学部	薬食生命科学総合学府（薬学系）	薬食生命科学総合学府（食品系）	国際関係学研究科	経営情報イノベーション研究科	看護学研究科	無回答
433	71	30	113	70	82	15	36	4	3	8	1
100.0	16.4	6.9	26.1	16.2	18.9	3.5	8.3	0.9	0.7	1.8	0.2

A 3 大学で、講義やゼミ等にはどのように参加していましたか。

調査数	積極的に参加した	やや積極的に参加した	どちらとも言えない	やや消極的な参加だった	消極的な参加だった	無回答
433	229	130	51	13	8	2
100.0	52.9	30.0	11.8	3.0	1.8	0.5

A 6 大学主催の就職支援講座等にはどのように参加していましたか。

調査数	積極的に参加した	やや積極的に参加した	どちらとも言えない	やや消極的な参加だった	消極的な参加だった	無回答
433	39	119	80	74	116	5
100.0	9.0	27.5	18.5	17.1	26.8	1.2

B 1 本学の就職活動支援は十分でしたか。それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
1 現実の問題・課題に関連した授業	433 100.0	39 9.0	113 26.1	191 44.1	60 13.9	12 2.8	18 4.2
2 授業以外で教員と接触する機会	433 100.0	42 9.7	82 18.9	176 40.6	96 22.2	21 4.8	16 3.7
3 就職指導の体制	433 100.0	36 8.3	113 26.1	173 40.0	75 17.3	20 4.6	16 3.7
4 企業実習（インターンシップ）の機会	433 100.0	24 5.5	71 16.4	181 41.8	97 22.4	44 10.2	16 3.7

B 2 本学卒業にあたり就職活動（公務員試験、教員採用試験等の受験を含む）をしましたか。

※大学院を卒業された方は、大学院卒業時についてのみお答えください。

調査数	はい	いいえ	無回答
433	405	21	7
100.0	93.5	4.8	1.6

B 2 - 1 どのような就職活動を行いましたか。

調査数	民間企業等への就職活動	公務員試験、 教員採用試験等の受験	両方とも行った	無回答
405	315	27	60	3
100.0	77.8	6.7	14.8	0.7

B 2 - 2 就職活動をせず、どうされましたか。

調査数	就職活動なしで就職	卒業前の仕事を継続	事業を始めた（自営業）	大学院その他へ進学	進学・就職なし	その他	無回答
21	5	4	0	4	1	2	5
100.0	23.8	19.0	0.0	19.0	4.8	9.5	23.8

B 3 本学卒業直後はどのような状況でしたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	正規雇用	起業	非正規雇用	家業従事	大学院など進学	公務員など試験準備	家事・育児に専従	家族の介護に専従	無職で職探し	無職で何もしていない	その他	無回答
433	399	0	12	0	6	4	1	0	1	1	3	6
100.0	92.1	0.0	2.8	0.0	1.4	0.9	0.2	0.0	0.2	0.2	0.7	1.4

B 3 本学卒業直後はどのような状況でしたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(4区分)

調査数	進学者	正規雇用者	非正規雇用者	その他	無回答
433	6	399	12	10	6
100.0	1.4	92.1	2.8	2.3	1.4

B 4 本学卒業後、正規・非正規問わず、就職をしたことはありますか。

調査数	就職したことがある	就職したことがない	無回答
433	416	4	13
100.0	96.1	0.9	3.0

B 5 本学卒業後最初の勤務先の雇用形態はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	正規雇用	起業	非正規雇用	家業に従事	その他	無回答
416	407	0	9	0	0	0
100.0	97.8	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0

B 6 本学卒業後最初の勤務先の所在地はどこですか。

調査数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
416	4	0	0	1	0	2	1	4	1	2	2	10	43
100.0	1.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.5	0.2	1.0	0.2	0.5	0.5	2.4	10.3

神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
20	1	1	1	2	2	2	2	244	26	3	0	5	9
4.8	0.2	0.2	0.2	0.5	0.5	0.5	0.5	58.7	6.3	0.7	0.0	1.2	2.2

兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県
7	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2	1
1.7	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2

長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外	無回答
1	0	1	0	0	1	0	12
0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	2.9

B 7 本学卒業後最初の勤務先の就労期間はいつからいつまでですか。

調査数	3ヶ月以内	6ヶ月以内	1年以内	1年6ヶ月以内	2年以内	2年6ヶ月以内	2年7ヶ月以上	無回答
416	7	10	153	16	93	6	115	16
100.0	1.7	2.4	36.8	3.8	22.4	1.4	27.6	3.8

B 8 総合的に考えて、本学卒業後最初の勤務先に満足していましたか、あるいは、満足していますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	満足していない	無回答
416	143	142	63	31	23	14
100.0	34.4	34.1	15.1	7.5	5.5	3.4

C 1 現在、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	正規雇用	起業	非正規雇用	家業従事	大学院等進学	公務員など試験準備	家事・育児に専従	家族の介護に専従	無職で職探し	無職で特に何もしていない	その他	無回答
433	391	0	24	0	5	1	1	0	3	2	1	5
100.0	90.3	0.0	5.5	0.0	1.2	0.2	0.2	0.0	0.7	0.5	0.2	1.2

C2 現在の勤務先はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	官公庁、公共機関	民間企業	病院	非営利組織	自営（起業・家業等）	その他	無回答
415	48	261	97	1	1	5	2
100.0	11.6	62.9	23.4	0.2	0.2	1.2	0.5

C2-1 業種についてあてはまるものに1つ○をつけてください。

調査数	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業
415	4	80	7	36	10	24	25	6	7	9	15
100.0	1.0	19.3	1.7	8.7	2.4	5.8	6.0	1.4	1.7	2.2	3.6

医療、福祉	公務、非営利団体 （他に分類されるものを除く）	その他	無回答
137	36	15	4
33.0	8.7	3.6	1.0

C3 現在の勤務先の所在地はどこですか。

調査数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
415	5	0	0	2	0	1	0	3	2	2	5	10	41
100.0	1.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.0	0.7	0.5	0.5	1.2	2.4	9.9

神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
21	1	1	0	2	2	2	2	245	29	2	1	7	9
5.1	0.2	0.2	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	59.0	7.0	0.5	0.2	1.7	2.2

兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県
7	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	2
1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.5

長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外	無回答
0	0	1	0	0	1	1	3
0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	0.7

C 4 現在の勤務先の従業員規模はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	29人以下	30人～99人	100人～299人	300人～999人	1,000人以上	分からない	無回答
415	23	29	52	89	187	32	3
100.0	5.5	7.0	12.5	21.4	45.1	7.7	0.7

C 5 (10時間ごと分類)現在の1週間の平均労働時間はどのくらいですか。時間数をご記入ください。

調査数	40時間未満	40～50時間未満	50～60時間未満	60時間以上	無回答
415	75	253	61	18	8
100.0	18.1	61.0	14.7	4.3	1.9

C 6 現在、どの程度の収入を得ていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	貯蓄ができ、余裕のある生活を送れる	貯蓄ができる程度の収入	赤字でも黒字でもない程度の収入	節約をしなければならぬ程度の収入	誰かを頼ったり借金が必要な収入	無回答
415	126	199	68	19	2	1
100.0	30.4	48.0	16.4	4.6	0.5	0.2

C7 働き方や働く理由は様々ですが、(A) あなたにとってどの程度重要ですか、(B) 現在の仕事でどの程度満足できていますか。それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

(A) あなたにとっての重要度

	調査数	高い	やや高い	どちらとも言えない	やや低い	低い	無回答
1 仕事にやりがいがある	415 100	133 32	188 45.3	57 13.7	29 7	7 1.7	1 0.2
2 社会や地域への貢献が実感できる	415 100	67 16.1	127 30.6	131 31.6	59 14.2	30 7.2	1 0.2
3 自分の夢や希望が叶う	415 100	101 24.3	144 34.7	120 28.9	38 9.2	11 2.7	1 0.2
4 成長できる	415 100	126 30.4	171 41.2	89 21.4	24 5.8	4 1	1 0.2
5 高い社会的評価を得られる	415 100	43 10.4	122 29.4	175 42.2	50 12	23 5.5	2 0.5
6 高い収入を得られる	415 100	135 32.5	172 41.4	74 17.8	25 6	8 1.9	1 0.2
7 雇用・身分の保証がある	415 100	173 41.7	152 36.6	67 16.1	16 3.9	4 1	3 0.7
8 仕事と私生活が両立する	415 100	239 57.6	112 27	43 10.4	12 2.9	8 1.9	1 0.2

(B) 現在の仕事の満足度

	調査数	高い	やや高い	どちらとも言えない	やや低い	低い	無回答
1 仕事にやりがいがある	415 100	86 20.7	160 38.6	109 26.3	39 9.4	16 3.9	5 1.2
2 社会や地域への貢献が実感できる	415 100	63 15.2	146 35.2	145 34.9	35 8.4	21 5.1	5 1.2
3 自分の夢や希望が叶う	415 100	35 8.4	122 29.4	154 37.1	72 17.3	27 6.5	5 1.2
4 成長できる	415 100	89 21.4	173 41.7	104 25.1	32 7.7	12 2.9	5 1.2
5 高い社会的評価を得られる	415 100	42 10.1	111 26.7	183 44.1	54 13	18 4.3	7 1.7
6 高い収入を得られる	415 100	29 7	124 29.9	160 38.6	69 16.6	27 6.5	6 1.4
7 雇用・身分の保証がある	415 100	177 42.7	141 34	71 17.1	15 3.6	4 1	7 1.7
8 仕事と私生活が両立する	415 100	89 21.4	129 31.1	123 29.6	48 11.6	21 5.1	5 1.2

D1 本学卒業後、正規・非正規問わず、転職・退職したことはありますか。

調査数	ある	ない (就職したことがないを含む)	無回答
433	60	332	41
100.0	13.9	76.7	9.5

D2 転職・退職しようとした際、誰に相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	親	親戚	兄弟姉妹	学生時代の友人	大学教員	大学キャリア支援室	会社の同僚・上司	その他	相談しない	無回答
60	43	5	7	22	5	0	19	12	8	60
100.0	71.7	8.3	11.7	36.7	8.3	0.0	31.7	20.0	13.3	100.0

D3 転職・退職した理由はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	やりがいを感じられないから	社会や地域への貢献を感じられないから	知識や技能を生かしたいから	自分の夢や希望が叶うと思えないから	成長を感じられないから	あまり社会的評価を得られないから	収入が少ないから	一時的に就いた仕事だから	事業不振や先行きが不安だから	時間に追われない仕事をしたいから	肉体的・精神的に負担が大きいから	結婚・出産したいから	家族の介護をしたいから
60 100.0	20 33.3	2 3.3	12 20.0	16 26.7	12 20.0	3 5.0	16 26.7	6 10.0	3 5.0	13 21.7	33 55.0	6 10.0	1 1.7

実家から通いたいから	適性がないと感じたから	人間関係がうまくいかないから	地元で働きたいから	その他	無回答
1 1.7	16 26.7	15 25.0	3 5.0	14 23.3	1 1.7

D 4 本学卒業後二番目の勤務先の雇用形態はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※転職したことのある方のみ、お答えください。

調査数	正規雇	起業	非正規雇用	家業に従事	その他	無回答
60	38	0	14	0	0	8
100.0	63.3	0.0	23.3	0.0	0.0	13.3

D 5 本学卒業後二番目の勤務先の就労期間はいつからいつまでですか。

※転職したことのある方のみ、お答えください。

調査数	3ヶ月以内	6ヶ月以内	1年以内	1年6ヶ月以内	2年以内	2年6ヶ月以内	2年7ヶ月以上	無回答
60	14	9	13	5	6	3	0	10
100.0	23.3	15.0	21.7	8.3	10.0	5.0	0.0	16.7

D 6 本学卒業後二番目の勤務先に転職して収入は上がりましたか。

※転職したことのある方のみ、お答えください。

調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
60	14	7	10	9	13	7
100.0	23.3	11.7	16.7	15.0	21.7	11.7

D7 総合的に考えて本学卒業後二番目の勤務先に満足していましたか、あるいは満足していますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。※転職したことのある方のみ、お答えください。

調査数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足してない	満足してない	無回答
60	17	19	6	5	4	9
100.0	28.3	31.7	10.0	8.3	6.7	15.0

D8 本学卒業後からこれまで、いくつの企業等（公務員、自営を含む）で働きましたか。

※現在の勤務先、非正規で雇用された企業も数に含みます。

調査数	0社	1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	無回答
433	8	369	41	4	3	1	0	7
100.0	1.8	85.2	9.5	0.9	0.7	0.2	0.0	1.6

E1 卒業後に本学を訪問したことがありますか。

調査数	はい	いいえ	無回答
433	173	234	26
100.0	40.0	54.0	6.0

E1-1 どのような目的で訪問しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	教員に会うため	研究室・ゼミ	卒業教育への参加	事務への用事のため	就職相談	部活動・サークル	剣祭を訪問	本学が会場の催し参加	目的なし	その他	無回答
173	65	49	4	10	6	34	48	12	9	30	11
100.0	37.6	28.3	2.3	5.8	3.5	19.7	27.7	6.9	5.2	17.3	6.4

E2 卒業後に本学の教員と連絡をとったことがありますか。

調査数	はい	いいえ	無回答
433	188	209	36
100.0	43.4	48.3	8.3

E2-1 どのように連絡をとられましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	大学訪問	電話	電子メール	葉書・手紙	メール以外の テキストメッセージ等	その他	無回答
188	41	15	132	14	35	18	188
100.0	21.8	8.0	70.2	7.4	18.6	9.6	100.0

E 3 本学の情報をどこから入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	本学HP	t w i t t e r	F a c e b o o k ペ ー ジ	X、 F a c e b o o k 以 外 の S N S	そ の 他	無 回 答
433	223	69	8	20	83	79
100.0	51.5	15.9	1.8	4.6	19.2	18.2

F 1 性別は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	女 性	男 性	そ の 他	無 回 答
433	293	133	2	5
100.0	67.7	30.7	0.5	1.2

F 2 現在お住まいの都道府県をご記入ください。

調査数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
433	5	1	1	1	0	1	0	2	2	2	6	14	35
100	1.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	0.5	0.5	1.4	3.2	8.1

神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
26	1	1	0	2	3	2	1	250	30	4	1	8	11
6.0	0.2	0.2	0.0	0.5	0.7	0.5	0.2	57.7	6.9	0.9	0.2	1.8	2.5

兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県
7	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	1
1.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.2

長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外	無回答
0	0	1	0	0	1	1	5
0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	1.2

F 3 現在の通勤・通学時間をご記入ください。

調査数	15分以内	30分以内	45分以内	1時間以内	1時間30分以内	1時間31分以上	無回答
433	140	146	44	65	21	4	13
100.0	32.3	33.7	10.2	15.0	4.8	0.9	3.0

F 4 大学卒業直前および現在、実家にお住まいでしたか、あるいはお住まいですか。それぞれの時期について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

実家での居住有無（大学卒業直前）

調査数	はい	いいえ	無回答
433	235	196	2
100.0	54.3	45.3	0.5

実家での居住有無（現在）

調査数	はい	いいえ	無回答
433	150	278	5
100.0	34.6	64.2	1.2

F5 職業や生活を通して重要なことはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	仕事にやりがいを感じられること	仕事で知識や技能を生かせること	自分の成長が感じられること	高い収入が得られること	高い社会的評価を得られること	余暇の時間が得られること	地元で働けること	適性のある仕事に就けること	職場の人間関係がうまくいっていること	失業の心配がないこと	仕事で健康が損なわれないこと	家族関係が良好であること	介護など、家族の苦痛によりそうこと
433 100.0	286 66.1	160 37.0	225 52.0	258 59.6	69 15.9	319 73.7	79 18.2	238 55.0	322 74.4	173 40.0	277 64.0	159 36.7	42 9.7

友人と十分に交流できること	社会や地域に貢献できること	自分の夢や希望が叶うこと	その他	無回答
198 45.7	92 21.2	133 30.7	0 0.0	2 0.5

G1 OB・OG懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力することはできますか。

調査数	はい	いいえ	無回答
433 100.0	176 40.6	239 55.2	18 4.2

H1 新型コロナウイルスの影響で収入に変化がありましたか。

調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
433	8	28	362	13	9	13
100.0	1.8	6.5	83.6	3.0	2.1	3.0

H2 新型コロナウイルスの影響で勤務先の人員は増えましたか、減りましたか。

調査数	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	無回答
433	10	9	351	33	17	13
100.0	2.3	2.1	81.1	7.6	3.9	3.0

H3 新型コロナウイルスの影響で転職・退職をしましたか。

調査数	した	しようと考えている	しない	無回答
433	7	6	413	7
100.0	1.6	1.4	95.4	1.6

I 1 本学のキャリア支援や就職ガイダンス等を経験して、就職活動に役立ったことはありますか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	キャリア支援センターに相談して就職先を決める事ができた	ガイダンス等を通じて、自分にあった就職先を決める事ができた	キャリア支援センターにて面接練習を行い試験に望むことができ、役に立った	キャリア支援センターで履歴書の添削等を行い、役立った	先輩の就職活動報告書が就職活動に役立った	掲示物等によって企業イベントの情報収集ができた	公務員講座を受講し試験に合格できた	業界勉強会や企業説明会で就職先を決める事ができた	キャリア形成概論を受講し自身のキャリア形成に役立った	ライティング基礎・実践講座を受講し自身のキャリア形成に役立った	キャリア支援センターの相談が、就職活動を始める、又は継続するモチベーションになった	無回答
433	46	25	150	153	172	59	13	33	17	6	58	104
100.0	10.6	5.8	34.6	35.3	39.7	13.6	3.0	7.6	3.9	1.4	13.4	24.0

3 調査結果集計結果（クロス集計）

B1 就職活動支援の評価（5段階評価）I 現実の問題・課題に関連した授業

A2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	433 100.0	39 9.0	113 26.1	191 44.1	60 13.9	12 2.8	18 4.2
薬学部	71 100.0	4 5.6	11 15.5	42 59.2	9 12.7	2 2.8	3 4.2
食品栄養科学部	30 100.0	2 6.7	7 23.3	15 50.0	3 10.0	1 3.3	2 6.7
国際関係学部	113 100.0	9 8.0	30 26.5	43 38.1	21 18.6	6 5.3	4 3.5
経営情報学部	70 100.0	9 12.9	24 34.3	28 40.0	8 11.4	0 0.0	1 1.4
看護学部	82 100.0	10 12.2	25 30.5	37 45.1	6 7.3	1 1.2	3 3.7
薬食生命科学総合学府（薬学系）	15 100.0	1 6.7	4 26.7	5 33.3	5 33.3	0 0.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	36 100.0	1 2.8	9 25.0	17 47.2	8 22.2	1 2.8	0 0.0
国際関係学研究科	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
経営情報イノベーション研究科	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5

B 1 就職活動支援の評価（5段階評価） 2 授業以外で教員と接触する機会

A 2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	433 100.0	42 9.7	82 18.9	176 40.6	96 22.2	21 4.8	16 3.7
薬学部	71 100.0	7 9.9	14 19.7	37 52.1	7 9.9	4 5.6	2 2.8
食品栄養科学部	30 100.0	4 13.3	7 23.3	11 36.7	6 20.0	0 0.0	2 6.7
国際関係学部	113 100.0	10 8.8	15 13.3	45 39.8	31 27.4	8 7.1	4 3.5
経営情報学部	70 100.0	5 7.1	16 22.9	25 35.7	20 28.6	3 4.3	1 1.4
看護学部	82 100.0	8 9.8	18 22.0	29 35.4	19 23.2	5 6.1	3 3.7
薬食生命科学総合学府（薬学系）	15 100.0	2 13.3	2 13.3	7 46.7	3 20.0	1 6.7	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	36 100.0	4 11.1	8 22.2	15 41.7	9 25.0	0 0.0	0 0.0
国際関係学研究科	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
経営情報イノベーション研究科	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0

B I 就職活動支援の評価（5段階評価） 3 就職指導の体制

A 2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	433 100.0	36 8.3	113 26.1	173 40.0	75 17.3	20 4.6	16 3.7
薬学部	71 100.0	7 9.9	19 26.8	31 43.7	10 14.1	2 2.8	2 2.8
食品栄養科学部	30 100.0	2 6.7	9 30.0	11 36.7	5 16.7	1 3.3	2 6.7
国際関係学部	113 100.0	8 7.1	26 23.0	43 38.1	27 23.9	5 4.4	4 3.5
経営情報学部	70 100.0	1 1.4	22 31.4	32 45.7	10 14.3	4 5.7	1 1.4
看護学部	82 100.0	12 14.6	25 30.5	25 30.5	13 15.9	4 4.9	3 3.7
薬食生命科学総合学府（薬学系）	15 100.0	1 6.7	2 13.3	8 53.3	3 20.0	1 6.7	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	36 100.0	3 8.3	8 22.2	16 44.4	7 19.4	2 5.6	0 0.0
国際関係学研究科	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
経営情報イノベーション研究科	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0

B 1 就職活動支援の評価（5段階評価） 4 企業実習（インターンシップ）の機会

A 2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	433 100.0	24 5.5	71 16.4	181 41.8	97 22.4	44 10.2	16 3.7
薬学部	71 100.0	4 5.6	9 12.7	33 46.5	16 22.5	7 9.9	2 2.8
食品栄養科学部	30 100.0	2 6.7	7 23.3	9 30.0	7 23.3	3 10.0	2 6.7
国際関係学部	113 100.0	8 7.1	9 8.0	48 42.5	29 25.7	15 13.3	4 3.5
経営情報学部	70 100.0	0 0.0	14 20.0	31 44.3	19 27.1	5 7.1	1 1.4
看護学部	82 100.0	6 7.3	23 28.0	28 34.1	14 17.1	8 9.8	3 3.7
薬食生命科学総合学府（薬学系）	15 100.0	0 0.0	1 6.7	7 46.7	4 26.7	0 0.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	36 100.0	0 0.0	6 16.7	18 50.0	8 22.2	4 11.1	0 0.0
国際関係学研究科	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
経営情報イノベーション研究科	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0
看護学研究科	8 100.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	0 0.0	1 12.5	2 25.0

B 7 卒業後最初の勤務先の就労期間

A 1 本学を卒業した時期（3区分）

	調査数	3ヶ月以内	6ヶ月以内	1年以内	1年6ヶ月以内	2年以内	2年6ヶ月以内	2年7ヶ月以上	無回答
全体	416 100.0	7 1.7	10 2.4	153 36.8	16 3.8	93 22.4	6 1.4	115 27.6	16 3.8
令和2年度	160 100.0	3 1.9	2 1.3	10 6.3	8 5.0	17 10.6	6 3.8	107 66.9	7 4.4
令和3年度	107 100.0	0 0.0	1 0.9	13 12.1	8 7.5	75 70.1	0 0.0	4 3.7	6 5.6
令和4年度	146 100.0	4 2.7	7 4.8	129 88.4	0 0.0	1 0.7	0 0.0	2 1.4	3 2.1

D3 転職・退職した理由

F1 性別

	調査数	やりがいを感じられないから	社会や地域貢献を感じられないから	知識や技能を生かしたいから	自分の夢や希望が叶うと思えないから	成長を感じられないから	社会的評価を得られないから	収入が少ないから	一時的に就いた仕事だから	事業不振や先行き不安だから
全体	60 100.0	20 33.3	2 3.3	12 20.0	16 26.7	12 20.0	3 5.0	16 26.7	6 10.0	3 5.0
女性	37 100.0	11 29.7	0 0.0	8 21.6	11 29.7	7 18.9	2 5.4	8 21.6	3 8.1	3 8.1
男性	23 100.0	9 39.1	2 8.7	4 17.4	5 21.7	5 21.7	1 4.3	8 34.8	3 13.0	0 0.0

時間に追われない仕事をしたいから	肉体的・精神的に負担が大きいから	結婚・出産したいから	家族の介護をしたいから	実家から通いたいから	適性がないと感じたから	人間関係がうまくいかないから	地元で働きたいから	その他	無回答
13 21.7	33 55.0	6 10.0	1 1.7	1 1.7	16 26.7	15 25.0	3 5.0	14 23.3	0 0.0
10 27.0	25 67.6	4 10.8	0 0.0	1 2.7	10 27.0	11 29.7	3 8.1	8 21.6	0 0.0
3 13.0	8 34.8	2 8.7	1 4.3	0 0.0	6 26.1	4 17.4	0 0.0	6 26.1	0 0.0

H I 新型コロナウイルスの影響による収入の変化

F I 性別

	調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
全体	433 100.0	8 1.8	28 6.5	362 83.6	13 3.0	9 2.1	13 3.0
女性	293 100.0	5 1.7	23 7.8	239 81.6	8 2.7	7 2.4	11 3.8
男性	133 100.0	1 0.8	5 3.8	120 90.2	5 3.8	2 1.5	0 0.0

H1 新型コロナウイルスの影響による収入の変化

A2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
全体	433 100.0	8 1.8	28 6.5	362 83.6	13 3.0	9 2.1	13 3.0
薬学部	71 100.0	1 1.4	2 2.8	64 90.1	1 1.4	1 1.4	2 2.8
食品栄養科学部	30 100.0	0 0.0	4 13.3	24 80.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3
国際関係学部	113 100.0	2 1.8	5 4.4	96 85.0	3 2.7	5 4.4	2 1.8
経営情報学部	70 100.0	1 1.4	0 0.0	63 90.0	4 5.7	1 1.4	1 1.4
看護学部	82 100.0	3 3.7	14 17.1	55 67.1	3 3.7	0 0.0	7 8.5
薬食生命科学総合学府（薬学系）	15 100.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	36 100.0	0 0.0	3 8.3	33 91.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
国際関係学研究科	4 100.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
経営情報イノベーション研究科	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	1 12.5	0 0.0	5 62.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0

H I 新型コロナの影響による収入の変化

C 2-1 勤務先の業種

	調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
全体	415 100.0	8 1.9	28 6.7	347 83.6	13 3.1	9 2.2	10 2.4
建設業	4 100.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
製造業	80 100.0	0 0.0	5 6.3	73 91.3	2 2.5	0 0.0	0 0.0
電気・ガス・熱供給・水道業	7 100.0	0 0.0	0 0.0	6 85.7	0 0.0	1 14.3	0 0.0
情報通信業	36 100.0	0 0.0	0 0.0	36 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
運輸業、郵便業	10 100.0	0 0.0	0 0.0	8 80.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0
卸売業、小売業	24 100.0	1 4.2	2 8.3	18 75.0	2 8.3	1 4.2	0 0.0
金融業、保険業	25 100.0	0 0.0	0 0.0	24 96.0	0 0.0	1 4.0	0 0.0
不動産業、物品賃貸業	6 100.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0
学術研究、専門・技術サービス業	7 100.0	0 0.0	0 0.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
宿泊業、飲食サービス業、 生活関連サービス業、娯楽業	9 100.0	1 11.1	0 0.0	7 77.8	0 0.0	0 0.0	1 11.1
教育、学習支援業	15 100.0	0 0.0	0 0.0	12 80.0	0 0.0	2 13.3	1 6.7
医療、福祉	137 100.0	4 2.9	20 14.6	102 74.5	4 2.9	1 0.7	6 4.4
公務、非営利団体 (他に分類されるものを除く)	36 100.0	2 5.6	0 0.0	31 86.1	2 5.6	0 0.0	1 2.8
その他	15 100.0	0 0.0	0 0.0	13 86.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7

H I 新型コロナウイルスの影響による収入の変化

C 4 現在の勤務先の従業員規模

	調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
全体	433 100.0	8 1.8	28 6.5	362 83.6	13 3.0	9 2.1	13 3.0
29人以下	23 100.0	0 0.0	1 4.3	20 87.0	1 4.3	0 0.0	1 4.3
30人~99人	29 100.0	0 0.0	0 0.0	23 79.3	2 6.9	3 10.3	1 3.4
100人~299人	52 100.0	0 0.0	1 1.9	48 92.3	2 3.8	1 1.9	0 0.0
300人~999人	89 100.0	0 0.0	8 9.0	78 87.6	1 1.1	2 2.2	0 0.0
1,000人以上	187 100.0	7 3.7	14 7.5	150 80.2	6 3.2	2 1.1	8 4.3
分からない	32 100.0	1 3.1	3 9.4	26 81.3	1 3.1	1 3.1	0 0.0

H2 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化

F1 性別

	調査数	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	無回答
全体	433 100.0	10 2.3	9 2.1	351 81.1	33 7.6	17 3.9	13 3.0
女性	293 100.0	4 1.4	6 2.0	233 79.5	26 8.9	13 4.4	11 3.8
男性	133 100.0	4 3.0	3 2.3	116 87.2	7 5.3	3 2.3	0 0.0

H2 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化

A2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	無回答
全体	433 100.0	10 2.3	9 2.1	351 81.1	33 7.6	17 3.9	13 3.0
薬学部	71 100.0	1 1.4	0 0.0	62 87.3	4 5.6	2 2.8	2 2.8
食品栄養科学部	30 100.0	0 0.0	0 0.0	29 96.7	0 0.0	0 0.0	1 3.3
国際関係学部	113 100.0	0 0.0	1 0.9	96 85.0	8 7.1	6 5.3	2 1.8
経営情報学部	70 100.0	3 4.3	2 2.9	59 84.3	2 2.9	2 2.9	2 2.9
看護学部	82 100.0	3 3.7	2 2.4	51 62.2	14 17.1	6 7.3	6 7.3
薬食生命科学総合学府（薬学系）	15 100.0	1 6.7	0 0.0	13 86.7	1 6.7	0 0.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	36 100.0	1 2.8	3 8.3	30 83.3	2 5.6	0 0.0	0 0.0
国際関係学研究科	4 100.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0	1 25.0	0 0.0
経営情報イノベーション研究科	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	1 12.5	1 12.5	5 62.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0

H2 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化

C4 現在の勤務先の従業員規模

	調査数	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	無回答
全体	433 100.0	10 2.3	9 2.1	351 81.1	33 7.6	17 3.9	13 3.0
29人以下	23 100.0	0 0.0	0 0.0	19 82.6	3 13.0	0 0.0	1 4.3
30人~99人	29 100.0	0 0.0	2 6.9	23 79.3	1 3.4	3 10.3	0 0.0
100人~299人	52 100.0	1 1.9	1 1.9	45 86.5	4 7.7	1 1.9	0 0.0
300人~999人	89 100.0	1 1.1	3 3.4	76 85.4	6 6.7	3 3.4	0 0.0
1,000人以上	187 100.0	8 4.3	2 1.1	146 78.1	16 8.6	7 3.7	8 4.3
分からない	32 100.0	0 0.0	1 3.1	26 81.3	2 6.3	2 6.3	1 3.1

H3 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無

F1 性別

	調査数	した	しようと考えている	しない	無回答
全体	433 100.0	7 1.6	6 1.4	413 95.4	7 1.6
女性	293 100.0	3 1.0	4 1.4	281 95.9	5 1.7
男性	133 100.0	4 3.0	2 1.5	127 95.5	0 0

H3 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無

A2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	した	しようと考えている	しない	無回答
全体	433 100.0	7 1.6	6 1.4	413 95.4	7 1.6
薬学部	71 100.0	1 1.4	0 0.0	69 97.2	1 1.4
食品栄養科学部	30 100.0	1 3.3	1 3.3	27 90.0	1 3.3
国際関係学部	113 100.0	1 0.9	2 1.8	108 95.6	2 1.8
経営情報学部	70 100.0	2 2.9	0 0.0	67 95.7	1 1.4
看護学部	82 100.0	0 0.0	2 2.4	78 95.1	2 2.4
薬食生命科学総合学府（薬学系）	15 100.0	0 0.0	0 0.0	15 100.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	36 100.0	0 0.0	1 2.8	35 97.2	0 0.0
国際関係学研究科	4 100.0	1 25.0	0 0	3 75.0	0 0.0
経営情報イノベーション研究科	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	1 12.5	0 0.0	7 87.5	0 0.0

H3 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無

C4 現在の勤務先の従業員規模

	調査数	した	しようと考えている	しない	無回答
全体	433 100.0	7 1.6	6 1.4	413 95.4	7 1.6
29人以下	23 100.0	2 8.7	0 0.0	20 87.0	1 4.3
30人~99人	29 100.0	3 10.3	0 0.0	26 89.7	0 0.0
100人~299人	52 100.0	0 0.0	1 1.9	51 98.1	0 0.0
300人~999人	89 100.0	1 1.1	2 2.2	86 96.6	0 0.0
1,000人以上	187 100.0	0 0.0	2 1.1	183 97.9	2 1.1
分からない	32 100.0	1 3.1	0 0.0	30 93.8	1 3.1

静岡県立大学のキャリア・就職支援を 中心とした学生支援に関する卒業生調査

調査へのご協力をお願い

本学は、質の高い教育・研究を通して、社会に貢献する人材育成を目指してきました。“教育と学生生活の質を重視した環境整備”をさらに進めるために、自己評価・他者評価を実施しています。

この調査は、卒業生の皆様に、現在の状況や本学のキャリア・就職支援を中心とした学生支援についての評価をお尋ねすることによって、本学のキャリア・就職支援、学生支援のあり方を検討するための資料を得ることを目的として行うものです。

今回は、令和2年度（2020年度）から令和4年度（2022年度）の3年間に本学学部あるいは大学院博士前期課程（修士課程）を卒業された皆様全員にご協力をお願いしています。

この調査に際して、記名は必要ありません。いただいた回答は、数字入力され、統計的に処理されますので、個人が特定されたりすることはありません。調査の結果を上記の目的あるいは学術的な目的以外で利用することはありません。また、回収した調査票の保管には慎重を期し、一定期間経過後は、焼却あるいは溶解処分いたします。

この調査は、教育機関としての本学の質の向上を図るための大切な調査ですから、ご多忙のところを恐縮ですが、是非ともご協力をお願いいたします。

返送締切：令和6年1月19日（金）

【お問い合わせ先】

静岡県立大学 キャリア支援センター

静岡県静岡市駿河区谷田 52 の 1

Tel. 054-264-5011

★ 以下の質問の中で、本学「卒業時」あるいは「卒業後」についてお尋ねしている質問に関して、大学院を卒業されている方は、大学院の「卒業時」あるいは「卒業後」についてお答えください。

A. 本学での学習・生活についてうかがいます。

A1 本学を卒業されたのは、いつですか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※大学院を卒業されている方は、大学院を卒業した時期をお答えください。

1 令和2年9月	2 令和3年3月	3 令和3年9月
4 令和4年3月	5 令和4年9月	6 令和5年3月

A2 卒業された学部・大学院はどちらですか。学部を卒業されている方は①に、大学院を卒業されている方は②に、あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※大学院を卒業されている方は、大学院の学府・研究科のみをお答えください。

① 学部を卒業されている方	② 大学院を卒業されている方
1 薬学部	1 薬食生命科学総合学府(薬学系)
2 食品栄養科学部	2 薬食生命科学総合学府(食品系)
3 国際関係学部	3 国際関係学研究科
4 経営情報学部	4 経営情報イノベーション研究科
5 看護学部	5 看護学研究科

A3 大学で、講義やゼミ等にはどのように参加していましたか。

1 積極的に参加した	2 やや積極的に参加した
3 どちらとも言えない	4 やや消極的な参加だった
5 消極的な参加だった	

A4 卒業後、実社会で役に立っている科目は何ですか。

A5 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目は何ですか。

A6 大学主催の就職支援講座等にはどのように参加していましたか。

1 積極的に参加した	2 やや積極的に参加した
3 どちらとも言えない	4 やや消極的な参加だった
5 消極的な参加だった	

A7 本学で実施しているキャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点を自由にお書きください。

B7 本学卒業後最初の勤務先の就労期間はいつからいつまでですか。

- | |
|---------------------------|
| 1 西暦()年()月 ~ 西暦()年()月 |
| 2 西暦()年()月 ~ 現在も就労 |

B8 総合的に考えて、本学卒業後最初の勤務先に満足していましたか、あるいは、満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1 満足している | 2 やや満足している | 3 どちらとも言えない |
| 4 あまり満足していない | 5 満足していない | |

C. 現在の職場の状況についてうかがいます。

C1 現在、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 正規雇用の従業員	2 起業
3 非正規雇用の従業員	4 家業に従事
5 大学院生・大学生・留学生・専門学校生	6 公務員や教員の採用試験等の準備
7 家事・育児に専従	8 家族の介護に専従
9 無職で仕事を探している	10 無職で特に何もしていない
11 その他()	

↓

※4ページのD1にお進みください

C2 現在の勤務先はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|--------------|----------|
| 1 官公庁、公共機関 | 2 民間企業 | 3 病院 |
| 4 非営利組織(NPO、NGO) | 5 自営(起業・家業等) | 6 その他() |

C2-1 業種についてあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------|--------------------------|-------------------|
| 1 建設業 | 2 製造業 | 3 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 4 情報通信業 | 5 運輸業、郵便業 | 6 卸売業、小売業 |
| 7 金融業、保険業 | 8 不動産業、物品賃貸業 | 9 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 10 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業 | 11 教育、学習支援業 | |
| 12 医療、福祉 | 13 公務、非営利団体(他に分類するものを除く) | |
| 14 その他 | | |

C3 現在の勤務先の所在地はどこですか。

現在の勤務先の所在地 ()都・道・府・県

C4 現在の勤務先の従業員規模はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|-------------|
| 1 29人以下 | 2 30人~99人 | 3 100人~299人 |
| 4 300人~999人 | 5 1,000人以上 | 6 分からない |

C5 現在の1週間の平均労働時間はどのくらいですか。時間数をご記入ください。

一週間の平均総労働時間 約 ()時間/週

C6 現在、どの程度の収入を得ていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 貯蓄ができ、余裕のある生活を送れる	2 貯蓄ができる程度の収入
3 赤字でも黒字でもない程度の収入	4 節約をしなければならない程度の収入
5 誰かを頼ったり借金が必要な収入	

C7 働き方や働く理由は様々ですが、(A)あなたにとってどの程度重要ですか、(B)現在の仕事でどの程度満足できていますか。それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

	(A) あなたにとっての重要度					(B) 現在の仕事での満足度				
	高	←	→	低		高	←	→	低	
1 仕事にやりがいがある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 社会や地域への貢献が実感できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 自分の夢や希望が叶う	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 成長できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 高い社会的評価を得られる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 高い収入を得られる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 雇用・身分の保証がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 仕事と私生活が両立する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

D. 大学卒業後の働き方の変化についてうかがいます。

D1 本学卒業後、正規・非正規問わず、転職・退職したことはありますか。

1 転職・退職したことがある	2 転職・退職したことがない (就職したことがないを含む)
----------------	----------------------------------

↓

※5ページのD8にお進みください

D2 転職・退職しようとした際、誰に相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 親	2 親戚(祖父母・叔父母)	3 兄弟姉妹
4 学生時代の友人	5 大学教員	6 大学キャリア支援室
7 会社の同僚・上司	8 その他()	9 相談しない

D3 転職・退職した理由はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 やりがいが感じられないから	2 社会や地域への貢献が感じられないから
3 知識や技能を生かしたいから	4 自分の夢や希望が叶うと思えないから
5 成長が感じられないから	6 あまり社会的評価を得られないから
7 収入が少ないから	8 一時的に就いた仕事だから
9 事業不振や先行きが不安だから	10 時間に追われない仕事をしたいから
11 肉体的・精神的に負担が大きいから	12 結婚・出産したいから
13 家族の介護をしたいから	14 実家から通いたいから
15 適性がないと感じたから	16 人間関係がうまくいかないから
17 地元で働きたいから	18 その他()

D4 本学卒業後二番目の勤務先の雇用形態はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。※転職したことのある方のみ、お答えください。

1 正規雇用の従業員	2 起業	3 非正規雇用の従業員
4 家業に従事	5 その他()	

D5 本学卒業後二番目の勤務先の就労期間はいつからいつまでですか。

※転職したことのある方のみ、お答えください。

1 西暦()年()月 ~ 西暦()年()月
2 西暦()年()月 ~ 現在も就労

D6 本学卒業後二番目の勤務先に転職して収入は上がりましたか。

※転職したことのある方のみ、お答えください。

1 上がった	2 やや上がった	3 変わらない
4 やや下がった	5 下がった	

D7 総合的に考えて本学卒業後二番目の勤務先に満足していましたか、あるいは満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。※転職したことのある方のみ、お答えください。

1 満足している	2 やや満足している	3 どちらとも言えない
4 あまり満足していない	5 満足していない	

D8 本学卒業後からこれまで、いくつの企業等(公務員、自営を含む)で働きましたか。

※現在の勤務先、非正規で雇用された企業も数に含みます。

勤務した企業等の数 ()社	※就職したことがない方は「0」社
----------------	------------------

E. 卒業後の本学とのつながりについてうかがいます。

E1 卒業後に本学を訪問したことがありますか。

1 はい	2 いいえ
	※6 ページの E2にお進みください

E1-1 どのような目的で訪問しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 教員に会うため	2 研究室・ゼミ
3 卒後教育への参加	4 事務への用事のため
5 就職相談をするため	6 部活動・サークル
7 剣祭を訪問	8 本学が会場の催しに参加
9 特に目的はなかった	10 その他()

E2 卒業後に本学の教員と連絡をとったことがありますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

↓

※E3にお進みください

E2-1 どのように連絡をとられましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 大学訪問	2 電話	3 電子メール
4 葉書・手紙	5 その他()	

E3 本学の情報をどこから入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 本学HP	2 X(旧 Twitter)	3 Facebook ページ
4 その他()		

F. あなたご自身についてうかがいます。

F1 性別は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 女性	2 男性	3 その他()
------	------	----------

F2 現在お住まいの都道府県をご記入ください。

現在お住まいの都道府県 ()都・道・府・県

F3 現在の通勤・通学時間をご記入ください。

現在の通勤・通学時間	およそ()時間 ()分 程度
------------	------------------

F4 大学卒業直前および現在、実家にお住まいでしたか、あるいはお住まいですか。それぞれの時期について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

大学卒業直前	現在
1 はい	1 はい
2 いいえ	2 いいえ

F5 職業や生活を通して重要なことはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 仕事にやりがいを感じられること	2 仕事で知識や技能を生かせること
3 自分の成長を感じられること	4 高い収入が得られること
5 高い社会的評価を得られること	6 余暇の時間が得られること
7 地元で働けること	8 適性のある仕事に就けること
9 職場の人間関係がうまくいっていること	10 失業の心配がないこと
11 仕事で健康が損なわれないこと	12 家族関係が良好であること
13 介護など、家族の苦痛によりそうこと	14 友人と十分に交流できること
15 社会や地域に貢献できること	16 自分の夢や希望が叶うこと
17 その他()	

G. 本学在学学生に向けて、卒業生として伝えたいことについてうかがいます。

G1 OB・OG 懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力することはできますか。

1 はい 2 いいえ

G2 本学を卒業して、①働くということについて気づいたこと、②そのほかにも、後輩に伝えたいと思っていることをそれぞれ、自由にお書きください。

①

②

H. 新型コロナの影響についてうかがいます。

H1 新型コロナの影響で収入に変化がありましたか。

1 上がった 2 やや上がった 3 変わらない
4 やや下がった 5 下がった

H2 新型コロナの影響で勤務先の人員は増えましたか、減りましたか。

1 増えた 2 やや増えた 3 変わらない
4 やや減った 5 減った

H3 新型コロナの影響で転職・退職をしましたか。

1 した 2 しようと考えている 3 しない

H4 H3で「1 した」、又は「2 しようと考えている」と回答した方にお尋ねします。

具体的理由はなんですか、自由にお書きください。

H5 新型コロナの影響であなたの職場の環境やあなたの処遇に影響はありましたか、自由にお書きください。

I. 静岡県立大学キャリア支援センターについてうかがいます。

- II 本学のキャリア支援や就職ガイダンス等を経験して、就職活動に役立ったことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1 キャリア支援センターに相談して就職先を決める事ができた | 2 ガイダンス等を通じて、自分にあった就職先を決める事ができた |
| 3 キャリア支援センターにて面接練習を行い試験に望むことができ、役に立った | 4 キャリア支援センターで履歴書の添削等を行い、役立った |
| 5 先輩の就職活動報告書が就職活動に役立った | 6 掲示物等によって企業イベントの情報収集ができた |
| 7 公務員講座を受講し試験に合格できた | 8 業界勉強会や企業説明会で就職先を決める事ができた |
| 9 キャリア形成概論(全学共通選択科目:人生と働くことの間わりや自分と社会の間わりについて考えさせる契機を提供)を受講し自身のキャリア形成に役立った | 10 ライティング基礎・実践講座(全学共通選択科目:自分の思いや考えが反映され、読み手を揺さぶる文章を目指す)を受講し自身のキャリア形成に役立った |
| 11 キャリア支援センターの相談が、就職活動を始める、又は継続するモチベーションになった | |

- 12 就職に関して在学中にあれば良かったと思う支援があれば、自由にお書きください。

- 13 キャリア支援センターに望むこと、ご意見、ご提案などありましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。お忙しい中、多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。

**令和6年1月19日（金）までに、
同封の封筒にてご返送ください。**

令和5年度
静岡県立大学キャリア・就職支援等に
関する卒業生調査

発行 2024年3月

編集 静岡県立大学 キャリア支援センター

〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田52の1

TEL 054-264-5011

FAX 054-264-5299